

稀本零葉集索引続稿

はじめに	191
凡例	192
稀本零葉五種細目	193
(1) 玉屑集	193
付たり 書田会「書史志料」	211
(2) 古粹残葉	213
(3) 同 別本	217
(4) 古雕聚葉	220
(5) 稀本零葉別集	224
あとがき	229
稀本零葉集一覧	236
書名五種綜合索引	240

はじめに

前稿の「稀本零葉集八種索引稿」をうけ、今回は五種の零葉集をとりあげる。内訳は、前稿「あとがき」に記すA・B・C・Dの四種、およびあらたに確認しえた『稀本零葉別集』からなる。量的にもなお不十分であることは言を俟たないが、前稿の欠を補うものとして御活用いただければ幸いである。

なお、本年も結果的に見送らざるをえなかった『反故草子』については、調査の段階で編者堀田葦男氏と直接消息をかわす幸運にめぐまれたが、いまだに十分にその全体像を把握しきれないでいる。その詳細は「あとがき」によりたい。

渡 島 母
 辺 原 利
 守 泰 司
 邦 雄 朗

凡例

一 稀本零葉集のうち、今回調査の及んだ五種について、零葉ごとの細目を記し、書名索引を添えた。

一 今回とりあげた零葉集およびその略号は次のごとくである。

玉	玉屑集	明43〜大正10	玉屑会	(十六回?)
梓	古梓殘葉	昭4	禿氏祐祥	二冊
別	同別本	昭4	同	二冊
雕	古雕聚葉	昭5	平塚運一	一冊
集	稀本零葉別集	不明	訪書会	一冊

一 稀本零葉集ごとに、所収の零葉に、整理のための番号を与えた。ただし『玉屑集』全六冊(第一〜十六回)については、「回」ごとに番号を改めた。

一 『古梓殘葉別本』の、目次に書名の記載のみあり貼付もれのものについては、書名総合索引に*印を付けた。

一 その他はおおむね前稿の凡例に準ずる。

玉屑集

(略号——「玉」)

冊数不明 玉屑会編 明治四十三年一月〜大正十年 発行部数不明
 三村竹清、幸田成友、加賀豊三郎、安田善之助など、当時の書物好きが集まって、月一回の例会を催し、零葉の頒布を行ったもの。零葉は原則として見開一丁またはそれ以上。第一期十二回の完結を記念し、『從吾所好』(明治四十五、林若樹編)が刊行された。その中に、頒布書目の一覧が載り、詳細は明らかであるが、第二期以降について、完結が大正十年二月十三日(第十六回30番参照)であったこと以外、多くは不明。
 いま底本に用いた、慶応義塾蔵『幸田成友博士善本零葉貼込帖』は全八冊に仕立てるが、四冊目までは『從吾所好』所収の書目にほぼ一致し、七冊目以下は書田会の「書史志料」および古経である。そこから第五、六冊を第二期と推測した。零葉右肩に添えられた標題紙の形式の一致も、この推測を裏付けるものごとくである。第一期は毎回の頒布数が十点前後であったが、第二期については分からない。ただし、第五冊目については、十七点の程度の三部に分けられるようであり、便宜、第五冊を、十三、十四、十五回、第六冊を十六回として扱う。略号は「玉一(一十六)」。また第二期分は、原則として、零葉ごとの冊数・刊年等を明示しないが、標題紙その他で分かるものについては、それぞれ摘記する。
 なお第五回、第七回附録の「名家真蹟」(各十家)を割愛した。
 書田会「書史志料」なるものの詳細は不明。「幸田先生行／書史志料第九回 書田会」の封筒が添えられるところから、その名を推したが、

貼付の零葉が全てであったかどうか分からない。よって、この分については、後考を待つことにして、とりあえずは、付たりとして書目を載せるにとどめる。

底本——慶応義塾図書館『幸田成友博士善本零葉貼込帖』

(一三三X一六—八)

■玉屑集第一回

1 広益書籍目録 刊 横本五冊

元禄五年八尾市兵衛版 四周単辺 8・4×14・7センチ 半丁

十二行 柱刻「書籍大目録二 十」 別に同巻第11〜14丁を貼

付

2 三世相小かがみ 刊 中本一冊か

宝永頃版か 四周単辺 16・8×12・2センチ 半丁十八行 上

の四半分に挿絵 柱刻「五」

3 女用訓蒙図彙 刊 半紙本五冊

貞享四年版 四周単辺 18・5×13・4センチ 半丁二十二行

柱刻「女用三 十二」 上の四半分に文、下に絵

4 忠義武道播磨石 刊 半紙本六冊

宝永八年版か 四周単辺 19・4×14・6センチ 半丁十二行

柱刻「忠義武道卷三 十八」

5 好色大福帳 刊 半紙本五冊

元禄十年版 四周单边 18・8×13・5センチ 半丁十行 柱刻

「大福」 十二

6 徒然草 刊 大本二冊

古活字版 嵯峨本 慶長頃刊 無辺 字高23・2センチ 半丁十
一行二十字 平がな交じり 丁付はウラのノドに「下廿八」 別
に同巻第29、30丁（丁付なし）を貼付

7 平家物語 刊 大本十二冊

古活字版 嵯峨本 慶長頃刊 無辺 字高21・8センチ 半丁十
行十八字前後 平がな交じり 丁付なし 別に三丁分を貼付

8 史記 刊 大本五十一冊

古活字版 いわゆる伝嵯峨本 慶長頃刊 四周双边 23・3×17
・5センチ 半丁八行十七字 有界 注文双行 柱刻「史記 伝
四十三 十一」 別に同巻第12、13丁を貼付

9 昌黎先生文集 刊 大本

古活字版 寛永頃刊 四周双边 22・0×17・1センチ 半丁九
行十七字 注文双行 柱刻「韓文二十五 一」 標題紙に「韓
文」とするが、当該の零葉に「五百家註音并昌黎先生文集卷二十
五」と内題がある 別に同巻第2、3丁を貼付

10 論語 刊 大本二冊

天文二年版 四周单边 20・9×17・8センチ 半丁七行 有界
柱刻「廿二」 いわゆる南宗寺版論語

■玉屑集第二回

1 伊勢曆 刊 折本

元禄十七年版 天地有界 19・7センチ

2 小夜衣 刊 半紙本五冊

天和三年版 四周单边 18・0×12・5センチ 半丁十行 柱刻
「さよ五 一」 別に同巻目録一丁を貼付 「十文字文庫」印
（三村竹清）あり

3 梶の葉 刊 半紙本三冊

宝永四年版 四周单边 16・0×11・3センチ 半丁八行 柱刻
「上 三」 別に同巻第7丁（挿絵）を貼付

4 花摘 刊 半紙本二冊

元禄三年版 無辺 字高15・5センチ 半丁八行 柱刻「上花
三」 別に同巻第4丁を貼付 其角の自筆板下

5 諸国御伽うつほ猿 刊 半紙本五冊

元文五年版 四周单边 19・0×13・5センチ 半丁十行 柱刻
「うつほさる 一 廿六」 別に貼付の同巻第27丁に「御伽売津
本猿巻一終」の尾題あり

6 松の葉 刊 半紙本五冊

元禄十六年版 四周单边 19・2×13・6センチ 半丁十二行
丁付はウラのノドに「三ノ十五」 別に同巻第16、17丁を貼付

7 松の葉 松竹梅 刊 半紙本五冊

元禄十六年版 四周单边 17・9×13・2センチ 半丁十二行

考

月れ雲をさううてゐた
 けふもつて心合ふ神さ月
 けふも布れさうさうな夜
 雲の影のさうさうな
 首ふ人の頭中と心は
 あゝさや只心合ふさうな
 やけのさうさうな
 衣れさうさうな

[illegible]

8 彩画職人部類 刊 大本二冊

文「吹ほかし画」の濫觴という

9 三体詩 刊 大本三冊

丁十行 有界 注文双行 柱刻二七 別に同卷第8、9

丁を貼付

1 役者綱目 刊 中本五冊

「綱目卷之二 十五」 別に同巻第16丁を貼付

2ゑほうの春駒 刊 半紙本二冊

元禄頃版か 無辺 字高15・9センチ ただし挿絵のみ四周単辺

16・0×10・9センチ 柱刻「二 十一十五」 別に同巻第16

丁を貼付

3 伽婢子 刊 半紙本十二冊

寛文六年版 四周单边 18・8×13・7センチ 半丁十二行 桂

刻「伽子卷六 七」 別に同巻第8丁を貼付

4 冠直衣女源氏姿繪百人一首 刊 半紙本

刊年不明 四周単辺 17・2×12・7センチ 丁付はオモテのノ
ドに「源下

八下二

」 奥村政信絵本 別に題◇（不完）

を貼付

5 伊曾保物語 刊 大本二冊

万治二年版 四周単辺 21・1×15・2センチ 半丁十二行 柱

刻「伊曾保下 二十」 別に同巻第21、22丁を貼付

6 東海道名所記 刊 大本六冊

万治頃版 四周双辺 21・0×16・0センチ 半丁十二行 柱刻

「道行一 廿五」 別に同巻第26、27丁を貼付

7 姿絵百人一首 刊 大本一冊

元禄八年版 四周単辺 19・6×14・4センチ 柱刻判読不能

師宣絵本

8 札部韻略 刊 大本五冊

五山版 刊年不明 左右双辺 20・9×13・6センチ 半丁十一

行 注文双行 有界 柱刻「毛勾四ノ 四十九」 ウラのノド

に「三十二般」 別に同巻第50丁を貼付

9 大蔵経 刊

高麗版 刊年不明 天地墨界21・8センチ 一面に足りず行数不

明 本文の右に「大乘□楞伽經卷第二 第一張 肆 貳直」

とあり

10 節用集 刊 大本二冊

慶長十六年版 四周単辺 23・5×15・6センチ 半丁真草双行

合八行 有界 柱刻「節用集上 五十」 別に同巻第52丁を貼
付

■玉屑集第四回

1 文献通考 刊 大本

明版 刊年不明 左右双辺 19・2×13・7センチ 半丁十三行

有界 柱刻「封建 文献通考卷二百七十五 七 滔」 別に同

巻第8丁を貼付

2 集千家註批点杜工部詩集 刊 大本

元版 刊年不明 四周単辺 20・9×13・0センチ 半丁十三行

注文双行 有界 柱刻「杜十三 □一」

3 保元物語 刊 大本三冊

古活字版 嵯峨本 無辺 字高23・1センチ 半丁十行十七八字

平がな交じり 丁付はウラのノドに「ホ下 二十二」 別に同

巻第23丁を貼付

4 一休可笑記 刊 大本三冊

刊年不明 四周単辺 22・2×16・3センチ 半丁十三行 上部

六・五センチに「一休ばなし」を十八行に付す 柱刻「一休可笑

記四 十六」 別に同巻第17丁を貼付

5 尤之双紙 刊 大本二冊

刊年不明 四周単辺 22・0×17・1センチ 半丁十行 柱刻

「上 廿七」 別に同巻第28、29丁を貼付

6 蘆分船 刊 大本六冊

延宝三年版 四周単辺 22・2×16・9センチ 半丁十三行 柱

刻「芦分 巻二 八」 片面は挿絵

7 泉志 刊 半紙本十五冊

元禄十年版 四周単辺 18・4×13・3センチ 柱刻「泉志巻十

五 一」 文中に図版を含めるため半丁行数不定 別に同巻第

2丁を貼付

8 堪忍記 刊 大本

寛文頃版 四周単辺 22・8×16・6センチ 半丁十三行 柱刻

「堪忍記巻三 十」 別に巻四第14丁を貼付

9 大和絵づくし 刊 大本

刊年不明 四周単辺 22・8×16・4センチ 上部四・七センチ

に横線、上が文、下が絵 半丁十六行 柱刻「十一」 別に同巻

第12丁を貼付 さらに刊記の部分写真で付し「大和絵師／菱川

吉兵衛／板本所／大伝馬三町目 鱗形屋三左衛門」とある

10 狂言記 刊 半紙本三冊

元禄頃版 四周単辺 18・2×13・6センチ 半丁十一行 柱刻

「狂言記三 一」 別に同巻目録一丁分を貼付

■玉屑集第五回

1 人倫訓蒙図彙 刊 半紙本七冊

元禄三年版 四周単辺 20・2×14・3センチ 上部八・九セン

チで横線 上が文、下が絵 半丁十五行 柱刻「人倫一 九」

別に同巻第10丁を貼付

2 曾我物語 刊 大本十二冊

寛文十一年版 四周単辺 22・0×16・6センチ 半丁十五行

柱刻「曾我物語巻第四 二十一」 別に同巻第又20丁を貼付

3 俳諧御傘 刊 横本十冊

慶安四年版 四周単辺 11・9×19・0センチ 半丁十六行 柱

刻「五ノ八」

4 尚書正義 刊 大本

覆宋版 左右双辺 21・3×15・7センチ 半丁八行 有界注

文双行 柱刻「尚一 一」 匡郭外に「足利学校公用」とある

5 狂歌大百人一首 刊 大本一冊

元禄十年版 四周単辺 20・0×15・5センチ 下に絵 上に狂

歌散らし書 丁付はオモテのノドに「六」 寛文九年刊「犬百人

一首」の求版本

6 京童 刊 大本六冊

明暦四年版 四周単辺 20・8×15・1センチ 半丁行数不明

柱刻「四巻 八」

7 古暦 刊

古活字版 寛永頃刊 断片のため大きさ、匡郭、行数等不明 有
界 柱刻はなし 紙面の天地二十センチ程

8 武道伝来記 刊 大本八冊

貞享四年版 四周单边 20・2×15・4センチ 半丁十三行 柱

刻「武道 卷五 九」 別に同卷第10丁を貼付

9 好色江戸紫 刊 半紙本五冊

貞享三年版 四周单边 18・9×13・5センチ 半丁十二行 柱

刻「紫一 三」

■玉屑集第六回

1 焦尾琴 刊 半紙本一冊

元禄十五年版 無辺 字高14・3センチ 半丁九行 丁付はウラのノドに「上三」 其角の自筆板下

2 立身大福帳 刊 大本七冊

元禄十六年版 四周单边 18・1×13・6センチ 半丁十行 柱

刻「立身大福帳卷之三 九」

3 可笑記 刊 半紙本十冊

万治二年版 四周单边 17・1×12・2センチ 半丁十二行 柱

刻「可笑記□四 四」 別に丁付の不明な二丁を貼付

4 一目玉鉾 刊 大本三冊

元禄二年版 四周单边 23・0×16・0センチ 中程で上下に分

け、下に絵、上に文 半丁十六行 柱刻「一目玉鉾 卷三 三」
別に同卷第4丁を貼付

5 からいと 刊 大本

松会版 四周单边 22・1×16・2センチ 半丁十四行 柱刻

「からいと下 二十一」

6 節用集^{易林本} 刊 大本二冊

慶長二年版 四周单边 22・3×17・9センチ 半丁七行 柱刻

「節用集上十五」 別に同卷第16丁を貼付

7 雨夜三盃機嫌 刊 半紙本三冊

元禄六年版 四周单边 17・5×13・2センチ 半丁十行 柱刻

「上ノ三」 別に同卷第4、5丁を貼付

8 四天王^並やはた 刊 中本

刊年不明 金平本 四周单边 10・5×11・9 半丁十六行 柱

刻「 十」 別に一丁を貼付

9 万葉集 刊 大本

古活字版 慶長頃刊 四周双辺 22・3×16・3センチ 半丁八

行十八字 無訓 柱刻「 一」 別に二丁を貼付 三丁

とも巻五目録

10 増補江戸惣鹿子名所大全 刊 横本七冊

寛延四年版 四周单边 8・1×14・1センチ 半丁二十行 柱

刻「鹿子卷一 一」 別に同卷第2丁を貼付

■玉屑集第七回

1 伊勢物語 刊 大本二冊

古活字版 嵯峨本 慶長十三年跋 無辺 字高22・3センチ
た
だし挿絵の半丁に匡郭あつて四周単辺19・8×14・1センチ 半
丁九行十八字前後 平がな交じり 柱刻なし 当該零葉は上巻第
15丁 別に同巻第16丁を貼付 袋綴並製本

2 傾城禁短氣 刊 横本五冊

正徳二年版 四周双辺 ただしノドの一边のみ単辺 13・1×19
・4センチ 半丁十四行 丁付はウラのノドに きんたん四巻

卅 見開き二丁（各面下部が連なる）を貼付 別に同巻第

31丁を貼付

3 太平記 刊 大本

古活字版 寛永元年刊 無辺 字高23・5センチ 半丁十一行二
十字 平がな交じり 濁点付活字、ルビ付活字を用いる 丁付は
オモテのノドに「五ノ 十五」 別に同巻第16丁を貼付

4 花燵 刊 大本八冊

明和二年版 四周単辺 21・6×15・5センチ 半丁十行か 丁
付はウラのノド下部に「一ノ四」 別に巻二第5丁を貼付 添紙
に「加賀君寄贈」とある

5 続山の井 刊 横本五冊

寛文七年版 四周単辺 11・4×17・6センチ 半丁十四行 柱
刻「続山井冬 六」 別に同巻第7丁を貼付 添紙に「大野君

寄贈」とある

■玉屑集第八回

1 会津曆 刊 中本一冊

正徳四年版 四周単辺 15・8×11・8センチ 半丁十六行 有
界 刊語「正徳三年出 立表測景定節氣者」 別に前見返に「奥
州会津諏方宮笠原出雲守」と刷る 外題を「正徳四^甲曆」とす
る一冊を原装のまま貼込む 一紙四ページ分を刷つて四つ折りに
して仮綴、ノドに一紙ごとの丁付がある

2 碧巖録 刊 大本十冊

五山版 刊年不明 四周双辺 18・0×11・7センチ 半丁十一
行 有界 柱刻「碧岩一 十」 別に同巻第11、12丁を貼付

3 四民乗合船 刊 大本

正徳四年版 四周単辺 19・3×14・2センチ 半丁十二行 柱
刻「二 四」

4 武蔵のつゆ懸合話 刊 半紙本

元禄頃版 四周単辺 18・1×13・4センチ 半丁十行 柱刻
「□巻二 六」

5 江戸名物鹿子 刊 半紙本三冊

享保十八年版 四周単辺 15・6×12・5センチ 各面絵と文を
交えて行数不同 柱刻「下十五」 別に同巻第16丁を貼付

6 狗猫集 刊 大本五冊

寛永十年版 無辺 字高21・2センチ 半丁十行 柱刻「三ノ十七」 当該の丁に内題あり「狗猫集卷第十ノ冬」とする 別に同卷第16丁を貼付 解説に寛文頃版とするが、寛永十年大炊道場存故の刊本

7 さんげ物語 刊 半紙本三冊

明暦頃版 無辺 字高18・7センチ ただし挿絵の丁に匡郭あつて、単辺18・4×14・2センチ 半丁十二行 柱刻「下 九」

8 今源氏空船 刊 大本五冊

享保元年版 四周単辺 19・5×14・4センチ 半丁十一行 柱刻「今源氏一 六」 当該の丁に内題「今源氏うつほ船一之巻」とある 別に同卷第7、8丁を貼付

9 和国諸職絵尽 刊 大本三冊

貞享二年版 四周単辺 22・2×15・9センチ うち上部五センチを枠で囲って文字を書くが行数不定 柱刻「しよく人下 二 十九」

10 職人尽発句合 刊 半紙本二冊

寛政九年版 四周単辺 19・7×15・0センチ 各面文字と絵を交えて行数不定 丁付はウラのノドに「上十七」 別に同卷第18丁を貼付

11 修紫田舎源氏 四編 刊 中本二冊

天保二年版 四周単辺 15・3×10・3センチ 行数不定 柱

刻「源氏四編 一（二十）」 刊記は前見返に「文政辛卯新

彫 仙鶴堂梓」 四編上下二冊を原装のまま貼付 「從吾所好」の目録に不載

■玉屑集第九回

1 十巻書 刊 半紙本

高野版 刊年未詳 無辺 字高18・9センチ 半丁六行 粘葉装 丁付は折目に「秘鍵四」

2 高野大師行状図画 刊 大本十冊

明暦頃版 天地単辺 23・3センチ 半丁十行 丁付は柱（縦に線を一本引くのみ）上部欄外に「二巻一」と横書き 別に同卷第7、8丁を貼付 天地のみの匡郭は絵巻物に倣ったか

3 伊勢物語 刊 半紙本二冊

万治三年版 四周単辺 16・5×11・5センチ 半丁七行 柱刻「いせ下 三」 挿絵に丹の手彩色あり 「從吾所好」に丹緑本とするが、後の加筆であろう

4 好色二代男 刊 大本八冊

貞享元年版 四周単辺 19・6×16・2センチ 半丁十三行 柱刻「二代 二 十一」

5 江戸名所ばなし 刊 大本八冊

元禄七年版 四周単辺 21・7×15・6センチ 半丁十二行 柱

刻「江戸咄二 二十四」 別に同巻第25、26、27丁（巻末半丁）を貼付

6 いそぎ 刊 半紙本

寛永頃版か 四周単辺 19・6×13・8センチ 半丁十行 柱刻

「いそぎ八」 別に同巻第9丁を貼付 「従吾所好」に寛文頃

とするが、挿絵その他版面の印象によって改める 寛文版は松会

の刊行

7 役者いろ仕組 刊 横本

享保頃版 四周単辺 10・9×17・0センチ 半丁十五行 柱刻

「二京巻 色仕組 廿三」 役者評判記

8 いへば草 刊 大本

享保十九年版 四周単辺 23・5×16・9センチ 半丁九行 柱

刻「いへば草四 十四」 別に同巻第15丁を貼付

9 類字名所和歌集 刊 大本七冊

古活字版 元和頃刊 無辺 字高24・1センチ 半丁十一行二十

七字前後 細字双行 平がな交じり 丁付はウラのノドに「四

十」 別に丁付不明の一丁を貼付

10 俳優三階興 刊 半紙本三冊

寛政十三年版 四周単辺 17・5×13・6センチ 半丁十三行

丁付はウラのノド下部に「下十二」 別に同巻第8丁（初代豊国

の挿絵、色刷）を貼付

11 金毘羅利生纒 刊 中本六冊

文政七年版 序・續像の丁ゆえ匡郭その他不明 柱刻「金毘羅船
初編 一」 別に表紙（刷付）・見返の一丁を貼付 「従吾所
好」に「焼板にて稀本」と注記 表紙に「神田／新シ橋通／橋本
町／川藤」の墨印あり

■玉屑集第十回

1 帝鑑図説 刊 大本六冊

古活字版 慶長十一年承兌刊 四周双辺 22・1×14・4センチ

半丁九行十九字 有界 柱刻「後 七十二」 別に挿絵一丁

（整版）四周双辺19・7×14・0（柱なく折り目まで）センチを

貼付

2 仏祖通載 刊 大本二十二冊

古活字版 慶長頃刊 四周単辺 21・4×15・3センチ 半丁十

行十九字 有界 柱刻「通載十五 十七」 欄外に音義を活字

で組む 別に同巻第18丁を貼付

3 「奈良絵本」

寛文頃か 絵面半丁のみ その大きさ17・4×26・1センチ

4 はなひ草綱目 刊 横本三冊

寛文頃版 四周単辺 11・2×17・7センチ 半丁十五行 柱刻

「綱目上 十七」 別に同巻第18丁を貼付

5 塵劫記 刊 大本

延宝三年版 四周単辺 21・3×15・8センチ 半丁十四行 柱
刻「新版塵劫キ 上 十八」 別に同巻第19丁を貼付

6 狂歌はなし 刊 大本三冊

寛文頃版 四周単辺 21・5×16・0センチ 半丁十二行 柱刻

「狂歌一 十二」 半丁は挿絵

7 浮世いろ算用 刊 横本一冊

刊年不明 四周単辺 11・1×17・5センチ 半丁十四行 柱刻

「袋巻一 二」 半丁は挿絵

8 ト養狂歌集 刊 半紙本二冊

元禄頃版 四周単辺 17・4×13・1センチ 半丁十四行 柱刻

「十五」 半丁は挿絵 師宣画

9 万の文反古 刊 半紙本五冊

元禄九年版 四周単辺 17・9×13・6センチ 半丁十一行 柱

刻「万文 巻一 六」 別に同巻第7丁を貼付 添紙に「安田

氏寄付」とある

10 好色訓蒙図彙 刊 半紙本三冊

享和頃版 四周単辺 19・3×13・4センチ 半丁十行 柱刻な

し 再版本 添紙に「安田氏寄付」

古活字版 元和頃刊 四周単辺 22・0×16・6センチ 半丁十

七行十八字 片かな交じり ただし大字は二行分をとり、一行は

十七字 柱刻「四河入海八之四 十六」 別に同巻第17丁を貼

付

2 勸学院物語 刊 半紙本一冊

寛文九年版 四周単辺 16・9×12・1センチ 半丁十四行 柱

刻「くわん 五」 半丁は挿絵

3 むさしあぶみ 刊 大本二冊

万治頃版 四周単辺 22・0×16・7センチ 半丁十五行 柱刻

「むさし下 □」 半丁は挿絵

4 百人一首像讀抄 刊 大本三冊

元禄五年版 四周単辺 23・2×15・8センチ 半丁二十三行か

柱刻「二十八」 別に同巻第29丁を貼付 師宣画

5 名女情比 刊 大本

刊年不明 四周単辺 19・9×14・8センチ 半丁十一行 柱刻

「名 巻之二 八」 半丁は挿絵

6 東海道敵討 刊 大本六冊

元禄十五年版 四周単辺 20・8×15・1センチ 半丁十行 柱

刻「東海道敵討巻五 二」 別に同巻第3丁を貼付

7 西鶴置土産 刊 大本五冊

元禄六年版 四周単辺 18・3×14・0センチ 半丁十一行 柱

刻「置土産五巻 十九」 別に同巻第20丁を貼付

■玉屑集第十一回

1 四河入海 刊 大本

8 当流女用鑑 刊 半紙本五冊

元禄頃版 四周単辺 18・1×13・7センチ 半丁十二行 柱刻

「女用五 八」 別に同巻第9丁を貼付

9 北条五代記 刊 大本

刊年不明 四周単辺 20・6×15・9センチ 挿絵のみの丁ゆえ

行数不明 柱刻「十巻 □」

10 倭玉篇 刊 大本一冊

慶安五年版 四周双辺 21・3×17・0センチ 有界 半丁十行

九段 柱刻「和玉 三十五」 別に同巻第36丁（最終丁）を貼

付 「慶安五曆初春／書林余氏全梓／新開板」の連牌木記がある

11 武玉川 刊 中本十八冊

明和年間版 無辺 字高10・8センチ 半丁九行 丁付はオモテ

のノドに「九十一」 別に同巻第92丁を貼付

12 明和伎鑑 刊 中本一冊

明和六年版 四周単辺 12・2×9・2センチ 半丁行数不明

柱刻有無不明 別に一丁分を貼付

2 当流雲の梯 刊 大本五冊

享保四年版 四周単辺 20・3×15・2センチ 半丁十二行 柱

刻「恋のかけはし 巻五 六」 別に同巻第7丁を貼付

3 奇妙図彙 刊 中本一冊

刊年不明 四周単辺 11・9×8・3センチ 半丁行数不明 柱

刻「九」 別に同巻第10丁を貼付

4 御馬印 刊 半紙本五冊

寛永頃版 無辺 ちなみに本の寸法は22・6×16・1センチ 柱

刻「五ノ 十七」 別に同巻第18丁を貼付

5 渡世身持談義 刊 大本五冊

元文元年版 四周単辺 20・0×15・8センチ 半丁十二行 柱

刻「身持談義一之巻 五」 別に同巻第6丁を貼付

6 謡本 刊 半紙本百冊

古活字版 嵯峨本 慶長頃刊 無辺 字高18・9センチ 半丁七

行十三行字前後 平がな交じり 曲名は「かつらき」

7 あさがほつゆのみや 刊 大本

刊年不明 四周単辺 22・3×16・1センチ 半丁十四行 柱刻

「あさかは 二十三」

8 新可笑記 刊 半紙本五冊

元禄元年版 四周単辺 17・7×13・5センチ 半丁十一行 柱

刻「新笑五 二」 別に巻五目録一丁を貼付

9 軽口はなし 刊 大本

■玉屑集第十二回

1 沖津白浪 刊 大本

刊年不明 四周単辺 20・0×15・3センチ 半丁六行（序）

柱刻「白波序 一」 別に序第2丁を貼付

元禄頃版 四周単辺 22・2×16・6センチ 半丁十五行 柱刻

「かる口 中三」と「かる口 中四」すなわち第3丁ウラ

面と第4丁オモテ面を張りあわせ一丁に仕立てたもの ゆえに第

3丁の柱が右ノドにあり第4丁柱が中柱となっている 別に同卷

第5丁を貼付

10 なんしよく大鑑 刊 大本八冊

貞享四年版 四周単辺 20・0×16・3センチ 半丁十二行 柱

刻「大八 十二」 別に同卷第13丁を貼付

11 訓蒙図彙 刊 大本十四冊

寛文頃版 四周単辺 22・0×16・7センチ 半丁を田字型に四

分し、それぞれ絵と解を付す 柱刻「巻四 二十六」

12 重修政和經史証類備用本草 刊 大形本

明版 四周単辺 24・8×16・4センチ 半丁十二行 有界 柱

刻「本草二 十七」 下部七センチほどで紙を継ぐ 別に同卷

第18丁を貼付

13 雲水壇 刊 大本

朝鮮本 四周単辺 20・0×15・6センチ 半丁八行 有界 柱

刻「十九」 オモテのノドに陰刻で「李介^(不明)□」とあり 別に貼付

の同卷第20丁に「万曆十六年戊子夏慶尚道清土虎踞山雲門寺開

板」とする

14 日本植物図譜 洋本

シーボルト著 フロラジャポニカ

■玉屑集第十三回

1 平家物語 刊 大本

寛永頃版 丹緑本 ただし後世の「つくり丹緑」か 四周単辺

21・3×16・2センチ 挿絵のみの丁ゆえ行数不明 柱刻判読不

能 標題紙に「安田氏寄贈」とあり

2 武具訓蒙図彙 刊 半紙本

貞享頃版 四周単辺 20・9×14・1センチ 丁付はウラのノド

に「一ノ廿一」 別に同卷第22丁を貼付

3 天正記 刊 大本

刊年不明 四周単辺 20・5×14・9センチ 半丁十一行 柱刻

「天正記巻六 七」 標題紙に「山中笑氏寄贈」とあり

4 京童跡追 刊 半紙本

寛文七年版 四周単辺 20・1×15・2センチ 半丁六行 ただ

しさらに四行分ほどの余白あり 柱刻「跡巻六 七」 刊記

「寛文^{丁未}七年九月吉日平野屋佐兵衛開板」

5 好色五人女 版 大本

貞享頃刊 四周単辺 19・3×14・3センチ 半丁十一行 柱刻

「五人女巻二 二十一」

6 貞徳永代記 刊 半紙本

元禄五年版 無辺 字高18・5センチ 半丁十一行 柱刻「巻之

三 八」 刊記「元禄五^{壬申}歳三月吉日 三条縄手大黒町 橘

屋庄三郎板行」 別に貼付の同卷第9丁に「松永貞徳永代絵師伝

記卷之三終」の尾題あり

7 俳諧時津風 刊 半紙本

延享三年版 無辺 刊記「延享三^{丙寅}年睦月出／割厭 谷村権六
／神田鍛冶町二丁目／書賣 池田屋源助」 別に二丁を貼付 標
題紙に「吉田氏寄贈」とあり 絵俳書

8 吾妻鑑 刊 大本

古活字版 慶長頃刊 四周双辺 22・9×16・9センチ 半丁十
二行二十字 注文双行 有界 柱刻「東鑑廿九 十」

9 天台菩薩戒疏 刊 大本

古活字版 天地界辺22・0センチ 半丁十行十七字 柱刻「菩薩
戒疏卷上 八」

10 摩訶止観科解 刊 大本

古活字宗存版 元和三年刊 天地に界線 その中にまた四周单辺
の匡郭があり、中柱はその中のみ 半丁十行十七字 柱刻「止九
之一 三十四」 刊記「惟皆元和三^{丁巳}曆十月上旬西京於北野
經王堂常明寺宗存令刊摺之畢」

11 百将新詠 刊 半紙本

仙台木活字版 弘化頃刊 左右双辺 17・3×12・0センチ 半
丁十行二十字 有界 柱刻「百将新詠下 四」

12 日本外史 刊 大本

木活字版 水戸拙修齋刊 刊年不明 四周单辺 19・7×14・0
センチ 半丁十一行二十二字 柱刻「拙修齋叢書 外史卷三

五」

13 龍川文集 刊 大本

木活字版 如不及齋刊 刊年不明 四周单辺 18・5×14・0セ
ンチ 半丁十行二十字 有界 柱刻「陳龍川文 卷之七 五」

14 経世文編抄 刊 大本

木活字版 津藩有造館刊 刊年不明 左右双辺 19・5×13・5
センチ 半丁十行二十字 有界 柱刻「文編抄乙集 中五」

15 菜根百事譚 刊 半紙本

木活字版 四周单辺 18・4×13・8センチ 半丁十行二十字
有界 柱刻「卷之一 五」

16 経済問答秘録 刊 大本

木活字版 四周单辺 18・0×12・7センチ 半丁十一行二十字
柱刻「経済問答秘録 卷之二 一」

17 文献通考鈔 刊 大本

木活字版 三計塾刊 四周双辺 18・6×13・4センチ 半丁十
行二十一字 注文双行 有界 柱刻「文献通考鈔 卷一 五
三計塾蔵版」

18 大学或問 刊 半紙本

木活字版 四周单辺 18・5×14・0センチ 半丁九行十六字
柱刻「四」 以上〔11〕から〔18〕は標題紙に「木活字本」とし
て一括

■玉屑集第十四回

1〔大蔵経〕 刊 折本

刊年不明 字高19・5センチ 一行十七字 黄紙 行間に「五百

五九二」とあり 丁付か

2新女歌仙 刊 半紙本

刊年不明 無辺 字高15・0センチ 和歌ちらし書 丁付はオモ

テのノドに「九」とあり

3むつちどり 刊 半紙本

元禄頃版 無辺 柱刻「二 十三」 絵俳書

4遊女百人一首 刊 半紙本

刊年不明 四周単辺 18・7×14・4センチ 和歌ちらし書 柱

刻判読不能

5役者手鑑 刊 半紙本

安永頃版 四周単辺 18・0×12・9センチ 柱刻有無不明 絵

俳書

6〔祐信絵本〕 刊 大本

刊年不明 四周単辺 22・1×16・0センチ 和歌ちらし書 丁

付はウラのノドに「下ノ八」 別に同巻第9丁オモテを貼付

7武蔵夜話 刊 大本

文化頃版 左右双辺 19・0×12・9センチ 半丁十行 柱刻

「野話 五五 琢玉斎蔵」

8法華秀句 刊 大本

古活字叡山版 元和寛永頃刊 四周双辺 22・5×15・7センチ

半丁十行二十字 注文双行 柱刻「秀句巻下 十一」

9源氏物語 刊 大本

古活字版 刊年不明 無辺 字高21・8センチ 半丁十一行二十

一字前後 平がな交じり オモテのノドに丁付らしきものがあるが、

虫損にて判読不能

10弁慶物語 刊 大本

古活字版 慶長元和頃刊 無辺 字高22・9センチ 半丁十一行

二十一字前後 平がな交じり 柱刻「下 □」

11桑華蒙求 刊 大本

木活字版 天保頃刊 四周双辺 22・1×15・3センチ 半丁八

行十七字 柱刻「桑華蒙求 下之巻 三十七」 別に同巻第38

丁を貼付

12御文記事珠 刊 半紙本

木活字版 刊年不明 四周単辺 20・5×14・8センチ 半丁十

一行二十二字 柱刻「御文記事珠五本 九」 本文の右に小字

で注文あり 薄葉刷

13秘本玉くしげ 刊 大本

木活字版 嘉永頃刊 四周単辺 21・0×14・9センチ 半丁十

行二十三字 柱刻「秘本玉くしげ上 九」

14西籍概論 刊 大本

木活字版 四周単辺 18・9×13・4センチ 半丁十行二十一字

柱刻「九」

15 大経奉讃 刊 大本

木活字版 左右双辺 19・4×12・3センチ 半丁九行十四字

有界 柱刻「活字板 大経奉讃 九」 刊記「活板所 江戸菊

沖藤兵衛」

16 陸宣公奏議 刊 大本

木活字版 安政頃刊 四周单辺 18・6×13・9センチ 半丁十

行二十字 柱刻「陸宣公奏議 序 二」

■玉屑集第十五回

1 訓蒙図彙 刊 大本

寛文頃版 四周双辺 19・4×13・1センチ 柱刻「訓蒙図彙

卷之八 七」 薄葉刷 特装本か 別に同巻第8丁を貼付

2 士農工商 刊 大本

刊年不明 四周单辺 22・5×16・5センチ 半丁十四行（上段

頭書による） 柱刻「あほん 春 六」 師宣絵本

3 「大蔵経」 写

三点 四行分 二行分 六行分の断片

4 百人一首 刊 大本

刊年不明 四周双辺 22・2×17・4センチ 柱刻判読不明 一

面上三分ほどを注（「此心は云々」）に当てる 江戸版

5 杉楊枝 刊 中本

刊年不明 四周单辺 16・2×11・4センチ 半丁十行 柱刻

「杉二 十七」

6 父の恩 刊 大本

享保頃版 四周单辺 18・3×13・7センチ 丁付はウラのノド

に 上ノ五 別に同巻第6丁を貼付

7 絵本いろは歌 刊 半紙本

刊年不明 四周单辺 18・2×13・4センチ 和歌五行書 丁付

はウラのノドに「下ノ四」 春信絵本

8 西鶴諸国ばなし 刊 大本

貞享頃版 四周单辺 18・9×14・3センチ 半丁八行 ただし

さらに二行分ほどの余白あり 柱刻「大五 三」

9 徒然草 刊 大本

元和頃版 無辺 字高22・0センチ 半丁十行 丁付はオモテの

ノドに「下三」 嵯峨本の覆刻整版

10 因果物語 刊 大本三冊

寛文頃版 四周单辺 22・3×16・8センチ 半丁十四行 柱刻

「因果 下 四」 平がな本 松会版（標題紙による） 平が

な十四行本の報告例を知らない

11 寛永行幸記 刊

古活字版 第一種 無辺 料紙の寸法27・0×43・8センチ 丁

付は一紙右下に「十三」 彩色なし

12 大絵図稽古帳 刊 大本

刊年不明 四周単辺 21・3×16・2センチ 半丁に二図 柱刻

「上 四」 江戸版か

13 首楞嚴經義疏 刊 折本

師直版 天地墨界 23・9センチ 一行十四五字 注文双行二十

字

14 大嘗会便蒙 刊 半紙本

元文頃版 四周単辺 18・2×12・9センチ 半丁十行 柱刻

「大嘗便蒙卷上 九」

15 武者揃 刊 半紙本

正徳頃刊 四周単辺 18・5×13・8センチ 半丁十一行 柱刻

「武者揃 卷之上 七」 別に同巻第8丁を貼付

16 仁勢物語 刊 大本

刊年不明 無辺 字高21・8センチ ただし挿絵のみ四周単辺

18・7×14・2センチ 半丁十三行 丁付はオモテのノドに

下ノ十六 別に同巻第17丁を貼付 第三次版 第一次版(寛

永頃刊)と第二次版(同上の覆刻)は十二行

17 札記 刊 大本

寛永五年版 四周双辺 20・9×15・1センチ 半丁七行 有界

柱刻「札記 百八十」 惺窩点「五経」十一冊のうち

18 曾我物語 刊 大本

古活字版 寛永頃刊 無辺 字高23・4センチ 半丁十二行二十

八字前後 平がな交じり 丁付のたぐいなし

19 仏祖統記 刊 大本

古活字版 四周単辺 22・8×16・0センチ 半丁十行二十字

有界 柱刻「統四十六 十五」 別に同巻第16丁を貼付 若干

異種活字を交える

20 東海道分間図 刊 折本

元禄頃版 無辺 絵の天地20・5センチ 「府中より吉田迄 卷

之三」の巻首部分 縹色オモテ表紙付き 師宣圖

21 医範提綱図 刊

亜欧堂銅版 四周単辺 24・2×18・7センチ 丁付は右頁ノド

に「六」 厚い洋紙に刷られる

■玉屑集第十六回

1 四十二国人物図説 刊 大本二冊

享保頃版 四周単辺 28・6×17・6センチ 柱を設けず 左右

の寸法は折目まで 半丁行数不明 丁付はウラのノドに 二十

別に「肆拾貳国／崎港西川先生著／人物図説」とする見返を貼付

標題紙に「川喜多氏寄贈」とあり

2 大魁四書集註 刊 大本

寛永頃刊 四周双辺 20・3×16・1センチ 半丁九行 柱刻

「大魁四書集註 孟子七卷 廿九」 別に同巻第30丁を貼付

標題紙に「如齋点」とする

3 絵本の松しらへ 刊 半紙本二冊

寛政頃版 四周単辺 21・5×15・3センチ 半丁行数不定 丁

付等不明 多色刷

4 首廿四孝 刊 大本一冊

天和頃版 四周単辺 20・4×16・7センチ 孝子一人に一丁を

当て、界線で区切って頭書あり ただし各丁オモテは、三段に区切って上段に6・5×16・7センチの挿絵を入れる 柱刻「廿四

孝 二

5 武者物語 刊 大本三冊

承応頃版 四周単辺 22・3×15・9センチ 半丁十四行 柱刻

「武者 中 □」

6 竹斎 刊 大本二冊

寛永頃版 無辺 字高21・7センチ ただし挿絵の面のみ単辺19

・7×15・6センチの匡郭あり 半丁十一行 柱刻「竹斎上

三十五」 整版の第一次版

7 紫文あまのさへつり 刊 大本

享保頃版 四周単辺 23・8×16・8センチ 界線で区切らずに

注を頭書する 本文半丁十五行 柱刻「紫文桐 五」

8 色縮緬百人後家 刊 横本五冊

享保頃版 四周単辺 13・2×19・3センチ 半丁十四行 丁付

はウラのノドに 二卷百人後家二 各面下部で続くいわゆる大

幅帳綴の両面を見開きで貼る

9 (東山外集) 刊 半紙本

五山版 左右双辺 17・9×11・9センチ 半丁十行 有界

柱刻「東 廿」 別に第21丁を貼付

10 身延山御抄 刊 大本

古活字版 寛永頃刊 無辺 字高20・5センチ 半丁八行二十字

前後 片かな交じり 別に送り仮名を小型活字を用いて字間に組む 柱刻「御書十八 二」 いわゆる身延版という

11 藻塩草 刊 大本十冊

寛永頃版 無辺 字高23・2センチ 半丁九行二十字前後 細字

双行 柱刻「藻塩巻十六 廿一」 桃色がかった鳥子薄様の料

紙 特製本か 古活字版の覆刻整版

12 勅撰名所和歌抄出 刊 大本二冊

古活字版 元和頃刊 無辺 字高23・2センチ 半丁十行 細字

双行 別に集付を小型活字で行間に組む 平がな交じり 丁付は

ウラのノドに「上 九」

13 元治夢物語 刊 小本

木活字版 刊年不明 左右双辺 13・9×10・5センチ 半丁十

行 有界 片かな交じり 柱刻「巻之一 五」

14 傷寒論疏義 刊 半紙本

木活字版 刊年不明 四周単辺 16・9×11・5センチ 半丁十

行 注文双行 柱刻「傷寒論疏義 巻首 三 学訓堂聚珍版」

15 水府公献策 刊 半紙本

木活字版 刊年不明 左右双辺 18・3×12・6センチ 半丁十

一行 有界 片かな交じり 柱刻「巻之上 七」

16 南木誌 刊 大本

木活字版 刊年不明 四周単辺 18・4×12・5センチ 半丁十

行 有界 柱刻「南木誌 巻之七 卅七 虎杖園」

17 責而者艸 刊 大本

木活字版 刊年不明 左右双辺 18・3×12・7センチ 半丁十

一行 有界 片かな交じり 柱刻「責而者艸 巻之十八 六」

18 つれく草 刊 大本

万治元年大和田九左衛門版 四周単辺 24・1×17・2センチ

界線で分かつことなく注を頭書 本文半丁八行 丁付はウラのノ

ドに 七ノろ 別に同巻第「れ」丁（両面挿絵）を貼付

19 大和耕作絵抄 大本

天和頃版 四周単辺 22・8×16・2センチ ただし上部四・八

センチで区切つて、上に文、下に絵 半丁十六字前後 丁付はオ

モテのノドに「廿四」 師宣絵本

20 江戸土産 刊 半紙本

宝暦頃版 四周単辺 18・8×13・1センチ 半丁八行 丁付は

ウラのノドに 上ノ三

21 絵本江戸桜 刊 大本二冊

享和頃版 四周単辺 20・9×15・0センチ 半丁行数不定 別

に序文（享和三年 十返舎十九）の丁二丁を貼付 多色刷

22 仁義理古武志 刊 大本一冊

刊年不明 四周単辺 22・4×15・3センチ 上部五・七センチ

を界線で区切り、上に文、下に絵 半丁十八行 柱刻「鷹 六」

23 海上問答 刊 大本三冊

寛文頃版 四周単辺 21・9×15・3センチ 半丁十四行 柱刻

「海上 九」『海上物語』（寛文六年刊）の改題本

24 当世知恵鑑 刊 大本六冊

正徳頃版 四周単辺 20・4×14・3センチ 半丁十一行 柱刻

「当世知恵鑑四 廿一」

25 藤川和歌百首 刊 小本一冊

天和頃版 四周単辺 13・0×9・3センチ 半丁十二行 柱刻

「百首 八」 挿絵は師宣か

26 三世相 刊 大本

天和三年版 四周単辺 22・4×16・6センチ 半丁十六行 柱

刻「三世下 六」

27 天目中峰和尚広録 刊 大本十冊

古活字版 寛永四年刊 四周単辺 21・5×16・4センチ 半丁

十行二十字 柱刻「広録巻十 □」 表紙裏貼りの反古 その

形なりに貼付 文中二字いわゆるゲタのままの箇所あり つまり

校正刷 標題紙に「広録」とする

28 莊子抄 刊 大本

古活字版 寛永頃刊 四周単辺 22・7×17・3センチ 半丁十
三行二十五字前後 片かな交じり 柱刻「莊抄卷十 五」表
紙裏貼りの反古 その形なりに貼付

29 太平記 刊 大本

古活字版 慶長元和頃刊 四周単辺 22・9×16・7センチ 半
丁十二行二十二字前後 片かな交じり 送り仮名を小型活字で字
間に組む 柱刻「二十四」 貼付の零葉に尾題があり、
「太平記巻第七終」とする

30 遠西医方名物考 刊 半紙本

文政八年版 四周単辺 19・0×13・6センチ 半丁十行 柱刻
「遠西名物考 卷三十五 十二 風雲堂藏」 別に同巻第13丁
および巻三十六第1丁（挿図）を貼付 この零葉裏面に朱書あつ
て「大正・十・二ノ十三玉屑会最終」とする

31 嶺南雜記 刊 小本

木活字版 刊年不明 四周単辺 13・0×9・3センチ 半丁七
行 有界 柱刻「雜記五種卷五 五 嶺南下」

32 十三朝紀聞 刊 半紙本

木活字版 刊年不明 四周単辺 19・6×13・8センチ 半丁十
行 柱刻「卷一 六」

33 小学合璧 刊 大本

木活字版 刊年不明 四周単辺 19・6×14・0センチ 半丁八
行 注文双行 有界 柱刻「小学合璧 卷之一 五」

34 雜病広要 刊 大本

木活字版 刊年不明 四周単辺 19・4×12・6センチ 半丁十
二行 注文双行 有界 柱刻「雜病広要卷二十^續 五 〇寿館
聚珍版」

35 真宗仮名聖教閱典録 刊 大本

木活字版 刊年不明 四周単辺 20・5×14・7センチ 半丁十
一行 片かな交じり 柱刻「閱典録条箇 四」

36 野史 刊 大本

木活字版 刊年不明 四周単辺 19・8×13・8センチ 半丁十
行 注文双行 柱刻「野史卷四十六 七 勸学校藏」

37 通俗三世因果実験録 刊 大本

木活字版 刊年不明 四周単辺 21・3×15・6センチ 半丁十
一行 片かな交じり 小型活字を用いて行間にルビを組む 柱刻
「実験録卷五 一」 貼付の零葉に内題あつて「通俗三世因果
実験録卷五 後編／三陽 遊仙道人 述」とする

付録

書田会「書史志料」書目

各零葉の右肩に貼る標題紙（印刷）に従って記述する。ただし、昔
名を冒頭に移した。へへ内は私に補うところである。

- 1 通小町 嵯峨本 又云光悦本、角倉版 謡曲 粘葉装
 2 蘭学階梯 蘭学本 大槻玄沢撰 天明八年板
 3 解体新書 翻訳本 杉田玄白訳 安永板
 4 風流姿絵百人一首 菱川師宣絵本 元禄板
 5 人物略画式 欽形蕙斎絵本 文化五年板
 6 骨董集 随筆 文化十一年板
 7 曾我虎が磨 丸本 近松作 十行本
 8 都羽二重拍子扇 うた本 一中節 文化板
 9 〈南総里見〉八大伝 読ミ本 文政中板
 10 太平新曲 狂詩本 文政三年板
 11 古今俄選 俄本 安永四年大阪板
 12 道中膝栗毛 滑稽本 十九作 文化板
 13 〈題不明〉 草双紙(黒本) 〈柱題「ぢくくの」〉
 14 〈題不明〉 草双紙(黄表紙) 〈柱題「あてづ、ほう」〉
 15 〈襲褌辻花染〉 草双紙(合巻) 〈馬琴作〉
 16 毛吹草 古俳書 正保板
 17 傾城禁短気 八文字屋板横本
 18 源氏あはしをり 丸本 古浄瑠璃
 19 〈好色文伝授〉 好色本
 20 人倫訓蒙図彙 元禄三年板
 21 松の葉 うた本 元禄十六年板
 22 保元物語 慶長かな活字本

- 23 難波鑑 古版名所記 延宝七年板
 24 春の色 江戸狂歌本
 25 〈題不明〉 奈良絵本(粘葉装)
 26 俳諧御傘 松永貞徳 万治□板
 27 鹿のまき筆 咄し本 貞享板(絶版書)
 28 好色二代男 西鶴本 一名諸艶大鑑
 29 平治物語 ぁどり本
 30 御伽名題紙衣 八文字屋本 其碩作 元文三年板
 31 蘇大成伝 朝鮮版 諺文
 32 〈題不明〉 篠崎小竹自筆文稿 〈筆写本〉
 33 奠陰略伝 木活字版 拙修斎刊
 34 〈題不明〉 春日版 経 卷子本
 35 大乘入楞伽経卷二 跋曰癸卯歲高麗国大藏都督奉勅彫造 〈高麗版大蔵経〉
 36 〈役者年中行事〉 〈標題紙欠 題簽「役者年中行事 京／大阪上」とする横本を、前表紙からうしろ表紙まで、つまり一冊全部貼付。ただし江戸の巻はなし。刊記「寛政十二年／申正吉日／八文字屋八左衛門板元」 役者評判記〉

古 梓 残 葉

(略号——「梓」)

二集二冊 別に解説一冊 禿氏祐祥編 昭和四年七月 京都杉田良太郎
発行 新村出題簽 宇佐見直八裝潢 限定四十部

初集を「支那朝鮮之部」「日本前期之部」に分ち、前者に宋版以下十二種、後者に古版経を中心に八種を収め、後集を「日本後期之部」とし、古活字版以下二十五種二十七葉を収める。二冊を通じて通しページ。零葉は奇数ページに貼る。全てが版本であつて、写本を交えない。また解説に原本の冊数を記さないで、本索引に明示できない。奥田抱生氏の古刻零葉貼込帖「桜の落葉」「桜梨余芬」に倣つたものという。各作おむね半丁を貼るが、稀に半丁に足りないものを交える。また第36番は「京雀」であるが紙数に不足をきたし、「狂歌ばなし」に替えた冊もある(底本も後者)。「古梓残葉(別本)」(昭4・9)は、本企画に使用した零葉の活用。

底本——京都大学附属図書館(八―五八・大別・コニ)

初集 支那朝鮮之部

1 四分律 刊

宋版 元府二年刊 单辺 天地24・7センチ 一行一七字 所収
の零葉は卷五十八 福州東寺版大蔵経のうち 三聖寺旧蔵

2 雜阿含經 刊

宋版 紹興二年頃刊 单辺 天地24・5センチ 一行十七字 湖

州本大蔵経のうち 継合せに「不 雜阿含經四十九 二 万漈」と刻するといふ 「万漈」は刻工

3 大般涅槃經 刊

宋版 無辺 字高22・8センチ 一行十七字 大蔵経のうち 所収の零葉は卷四十 鶻飼徹定、谷村一太郎旧蔵

4 無能勝大明陀羅尼經 刊

高麗版 单辺 天地22・3センチ 一行十四字 注文双行 高麗版再雕本大蔵経のうち 丁付を「無能勝大明陀羅尼經 第六張経」のごとくする

5 新編事文類聚翰墨全書 刊 巾箱本

元版 左右双辺 15・8×10・2センチ 半丁十四行 有界柱刻「啓□□□ 十」 ウラの丁ノドに「喪札」と見出し語を付す

6 周札註疏 刊 大本

明版 正徳年間刊 四周单辺 19・7×12・8センチ 半丁九行 有界 柱刻「唐疏四十 三十五 □□」 柱刻下部の二字は彫工名と思われるが判読不能 「十三経註疏」のうち

7 海意菩薩所問浄印法門經 刊 大本

明版 万曆三十六年刊 四周双辺 21・9×14・4センチ 半丁十行 有界 柱刻「経 海意菩薩所問浄印法門経卷九 八 似」 方冊十二本大蔵経のうち

8 冊府元龜 刊 大本

明版 崇禎年間刊 四周单边 19・3×13・7センチ 半丁十行
有界 柱刻「冊府元龜」開位部 卷之二百一十四 十六」

9 水経 刊 大本

明版 天啓年間刊 左右双行 19・6×13・5センチ 半丁九行
有界 柱刻「水経 卷下 十八」 「漢魏叢書」のうち

10 地理大全 刊 大形本

朝鮮古活字版 四周双辺 21・3×14・6センチ 半丁九行十七
字 柱刻「門庭一 十八」 銅活字本

11 標題句解孔子家語 刊 大形本

朝鮮版 四周单边 23・4×16・3センチ ただし上部2・8セ
ンチを横線で区切つて音注を付す 半丁十行 有界 柱刻「家語

二 十八」

12 曆本 刊

朝鮮版 同治八年刊 四周单边 21・3×センチ 半丁に
足りず、行数・寸法等不明

日本前期之部

13 四分律行事鈔科 刊

泉湧寺版 建長四年刊 無辺 字高25・9センチ 継合せに「事
鈔上 八」のごとくあり

14 釈摩訶衍論記 刊 大本

高野版 正応元年刊 無辺 字高20・5センチ 半丁七行 両面

刷糊葉装 刊記「為報仏恩酬祖德謹開印板伝之來葉／正応元年
戊子六月 日 沙門慶賀」 所収零葉は巻四

15 大般若経 刊

春日版 無辺 字高20・0センチ 一行十七字 所収零葉は巻百
六十

16 仁王般若経 刊

東寺版 文安元年覺増刊 無辺 字高21・4センチ 一行十七字
所収零葉は巻上

17 王狀元集註諸家分類東坡先生詩 刊 大本

五山版（覆元版） 左右双辺 18・8×12・6センチ 半丁十一
行 有界 柱刻「巻四 」

18 碧巖録 刊 大本

五山版 左右双辺 18・0×11・4センチ 半丁十一行 有界
柱刻「碧巖十 廿八」

19 浄土名目図 刊

永正五年版か 無辺 字高21・1センチ
20 蓮如上人御文 刊 大本

文祿慶長頃版 無辺 字高21・7センチ 半丁七行 片かな交じ
り 丁付はウラのノドに「五之六」 巻尾に准如上人の署名花
押あり

日本後期之部

21摺仏 刊

平安中期版 仏像一軀の寸法4・2×3・0センチ前後 浄瑠璃
寺胎内出現という 単弁

22九重守 刊

刊年不明 単辺 天地5・4センチ

23歌がるた 刊

江戸時代前期刊 紙片寸法6・7×4・5センチ 百人一首作
者名、上の句と作者肖像を刷り、丹緑本風に手彩色を加える
以
上三点(摺仏・九重守・歌がるた)を一ページに収める



24史記 刊 大本

古活字版 慶長頃刊 四周双辺 22・9×17・2センチ 半丁八
行十七字、注文双行 有界 柱刻「史記 紀十二 三十五」
いわゆる伝螻蟻本

25太平記 刊 大本

古活字版 寛永元年刊 無辺 字高23・8センチ 半丁十一行二
十字 平がな交じり 漢字はルビ付活字 丁付はオモテのノドに
「廿六 十八」 刊記「千時寛永元年南呂下旬 開版之」 解
説に元和二年版とするが失考 元和二年版は十二行片かな交じり

26城西聯句 刊 横本

古活字版 元和四年木室二兵衛刊 無辺 字高11・5センチ 半
丁十三行十二字 作者名(一字)は小型活字 柱刻「九千句上
六十」 別に同巻第61丁半丁を貼付

27纂図附音増広古註千字文 大本

古活字版 元和頃刊 四周双辺 22・2×16・4センチ 半丁十
四行二十字 ただし本文は二行分の大形活字 柱刻「注千字文上
十八」

28三体詩法 刊 大本

古活字版 寛永三年木室二兵衛刊か 四周双辺 19・5×14・4
センチ 半丁八行十五字 有界 柱刻「三体詩 十八」 所収
零葉は巻一

29涅槃經疏 刊 大本

古活字叡山版 寛永頃刊 四周双辺 22・8×16・4センチ 半

丁十一行二十字 柱刻 「涅槃疏一 十八」

30 袖保隠通鈔 刊 大本

古活字高野版 寛永頃刊 無辺 字高21・3センチ 半丁九行二十字あるいは二十一字 片かな交じり 別に送りがない、返り点を小形活字で行間に組んだ付訓植版、「ナル」「ヘウ」など片仮名の連続活字が使用されている 柱刻「□□ 九 十三」

31 源平盛衰記 刊 大本

寛永頃版 四周双辺 22・8×16・5センチ 半丁十二行二十三字前後 片かな交じり 柱刻「盛衰記卷四十三 卅」 解説に古活字版とするが、底本貼付の零葉は整版 附訓活字を使いたい わゆる乱れ版であろう

32 摩訶般若波羅蜜經 刊 大本

古活字天海版 寛永頃刊 单辺 天地22・3センチ 一行十七字 継合せに寛永「緘 摩訶般若二十一 十八」のごとくするとい う 寛永寺版大蔵經のうち

33 義経記 刊 大本

正保頃版 四周单辺 21・8×16・5センチ ただし柱を設けないので左右は折目からの寸法 半丁十二行 柱刻「義経一 □」

34 三世相 刊 大本

明暦頃版 四周单辺 22・8×18・1センチ 行数不定 文中に挿絵を多数交える 柱刻「三世相卷下 □□」 覆朝鮮版か

35 一休ばなし 刊 大本

寛文八年版 四周单辺 21・2×16・0センチ 挿絵のみの丁ゆ え行数等不明 摺刷鮮明で初刷に近い

36 狂歌ばなし 刊 大本

寛文頃版 四周单辺 21・3×16・0センチ 半丁十二行 柱刻「狂歌一 十一」

37 曾我物語 刊 大本

寛文十一年版 四周单辺 21・9×16・6センチ 半丁十五行 柱刻「曾我物語卷第四 □□」 別に巻四の挿絵半丁を貼付するが、丁付が「又廿三」と読める

38 謡本 刊 半紙本

延宝五年京山本源太郎版 無辺 字高17・0センチ 半丁七行 観世流百番のうち「鉢木」

39 百人一首像讃抄 刊 大本

延宝六年江戸鱗形屋版 四周单辺 23・3×15・7センチ 半丁 行数不定 柱刻「五十六」 下部右側に歌人名、和歌、肖像を歌かるた式に、左側に、和歌の趣きを描いて挿絵とする 巻尾に「右百人一首之位官之衣服、改並歌之心絵、道引訖 武州江城之下 大和絵師菱川吉兵衛師宣」とあり

40 三無性論 刊 大本

寛文天和頃版 四周双辺 21・1×14・0センチ 半丁十行 柱刻「論 三無性論卷上 十五 沛九」 いわゆる鉄眼版大蔵

経のうち

41 つれづれ草 刊 大本

元禄四年版 四周単辺 23・5×16・7センチ 半丁十二行 柱

刻「つれづれ上 十九」上部五・八センチを区切って挿絵を

施す 巻尾に「洛陽処士艸田齋寸木子三径図讀」とあり 艸田齋

は苗村三径

42 世間胸算用 刊 大本

元禄五年版 四周単辺 18・7× センチ 半丁に足りず、

行数・寸法等不明 柱刻「胸算用 五十」

43 小町家集 刊 半紙本

元禄頃版 無辺 字高16・0センチ 半丁八行 柱刻「小町上

二」紙数二十四枚、挿絵六図という

44 百人女郎品定 刊 大本

享保八年京八文字屋八左衛門版 四周単辺 23・6×17・6セン

チ 丁付なし 貼付の零葉は上巻の「町人中品の妻」の半丁 画

者は西川祐信

45 伊勢物語 刊 大本

安永七年版か 四周単辺 21・6× センチ 丁付はウラ

のノドに「上十ノ廿」半丁に足りず、行数・寸法等不明

古梓残葉（別本）

（略号——「別」）

一卷一冊 禿氏祐祥編 昭和四年九月 杉田長太郎発行 新村出題字
限定十二部

支那朝鮮之部、日本前期の部（室町期まで）、日本後期の部に分つて、
全三十四種三十五葉を収める。同年七月発行の「古梓残葉」の好評に応
えるべく、残余を集めて作ったもの、という。それゆえ発行部数が極端
に少なく、また零葉の数も少ない。その結果として元禄四年の刊本が下
限となり、前集に比べて、よりタイトルにふさわしい内容となった。ま
た残余の不足を補うべく、4「四分律行事抄」（宋版）と28「保元物語」
（寛永三年刊丹緑本）が新たに加えられている。とくに後者は挿画の丁
を添えているが、それが可能になったのも、発行部数が限られていたた
めであろう。ただ恨むらくは、底本に、その丹緑の挿画を含む数葉を欠
く。後の欠落ではなく、残余に過不足のあった結果であろう。もって零
葉集が五十部を越すことの困難を証するか。なお、本零葉集に限って記
述を簡略にした。文中「前集」とは「古梓残葉」を指す。

底本——横浜国立大学附属図書館（〇二三—一一）

支那朝鮮之部

1 四分律

前集1番に同じ

2 雑阿含経

前集2番に同じ

3 大般若涅槃經

前集3番に同じ

4 四分律行事抄 刊

南宋版 単辺 23・2センチ 一行十九字 三行分の断片ゆえ、

装訂その他を明らかにしない

5 新編事文類聚翰墨全書

前集5番に同じ

6 周礼註疏

前集6番に同じ 卷四十第10丁ウを貼付

7 海意菩薩所問淨印法門經

前集7番に同じ 卷七第9丁ウを貼付

8 冊府元龜

前集8番に同じ

9 水經

前集9番に同じ 下卷第21丁ウを貼付

10 地理大全

前集10番に同じ 卷一第28丁ウを貼付

11 孔子家語

前集11番に同じ 中卷第28丁オを貼付

日本前期の部

12 摺仏

前集21番に同じ 三行四段の合計十二体あり

13 釈摩訶衍論記

前集14番に同じ

14 大般若經

前集15番に同じ

15 仁王般若經

底本に欠

16 王狀元集註諸家分類東坡先生詩

前集17番に同じ 卷四第29丁ウを貼付

17 碧巖錄

底本に欠

18 淨土名目図

前集19番に同じ

19 蓮如上人御文

前集20番に同じ

日本後期の部

20 史記

前集24番に同じ 卷十二第9丁オを貼付

21 太平記

前集25番に同じ オモテのノドに「廿六 三十一」とある半丁を貼付

22城西聯句

前集26番に同じ 上巻第13丁オを貼付

23三体詩法

前集28番に同じ 卷一第28丁ウを貼付

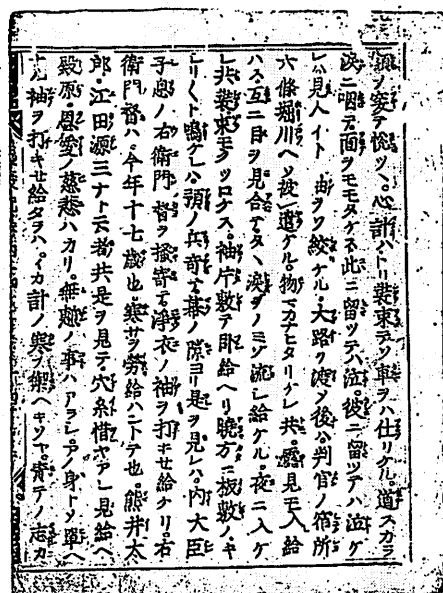
24涅槃經疏

前集29番に同じ 卷一第30丁ウを貼付

25杣保隱遁鈔

底本に欠

26源平盛衰記



前集31番に同じ 四十四卷第14丁オ（古活字版）を貼付 標題紙に前集を踏襲して「卷四十三」とする

27大品般若經 折本

古活字版 寛永頃刊 天地単辺 22・3センチ 一行十七字 天

海版大藏經のうち

28保元物語 刊 大本三冊

寛永三年版 丹緑本 無辺 字高21・2センチ 半丁十二行 柱

刻「保元卷二 四十七」 別に挿絵（筆彩色）の半丁が添えら

れたはずであるが、底本に欠 解説に正保年間版とするが、版式

に従って改めた

29三世相

前集34番に同じ 下巻第37丁ウを貼付

30曾我物語

前集37番に同じ 卷五第6丁オを貼付

31謡本

前集38番に同じ ただし曲は「龍田」

32百人一首像讀抄

前集39番に同じ 第38丁オを貼付

33三無性論

前集40番に同じ 下巻第14丁ウを貼付

34つれく草

前集41番に同じ 上巻第6丁オを貼付

古雕聚葉

(略号——「雕」)

一卷一冊 別に解説一冊 平塚運一編ならびに解説 昭和五年夏東京市
天心堂画房発行 畦地梅太郎木版彫摺 寺本健六装潢 限定二十七部
(一般頒布二十四部) 会費二十円

近世前期元禄頃までの各種零葉三十九種五十八葉を収録。編者の興味
は、もっぱら「古版本の挿絵」にあり、よって、本文、挿絵の両葉をそ
なえたものについては、挿絵のみが収められる。画帳は厚手の三州
紙、朝鮮紙を用い、表題、奥付にいたるまですべて木版。いわゆる零葉
集の類本中、もっとも愛すべき一集である。前年、「古梓残葉」の編集
にたずさわった禿氏祐祥氏の協力をうけた。集中の寛文十三年版「池坊
立花百瓶図」は同氏の提供になる。

底本——京都大学附属図書館(八—五八・大別・コニ)

1 義経記 刊 大本八冊

寛永頃版 丹緑本 無辺 字高22・4センチ ただし挿絵のみ四
周単辺20・6×15・4センチ 柱刻「□経二 八」

2 聖賢像賛 刊 大本二冊

寛永二十年版 四周単辺 19・2×13・9センチ 半丁十行 た
だし七行分を挿絵がしめる 柱刻「先儒像賛 卷四 二十
□」 刊記「寛永二十癸未孟春之吉 五条橋詰町 北尾八兵衛」

3 保元物語 刊 大本三冊

寛永三年版か 無辺 字高21・7センチ ただし挿絵のみ四周単
辺20・1×15・7センチ 半丁十二行 柱刻「保元卷一 三十
二」 同版に丹緑本あり

4 平治物語 刊 大本三冊

寛永三年版 無辺 字高21・4センチ ただし挿絵のみ四周単辺
19・9×15・1センチ 半丁十二行 柱刻「平治卷三 八」
刊記「寛永三丙寅年長月吉辰」

5 明堂灸経 刊 大本一冊

明暦・万治頃版か 四周双辺 18・3×13・3センチ 挿絵の左
に本文三行 柱刻「灸経 □十□」

6 四書略図解 刊 大本三冊

承応二年版 四周双辺 23・2×17・6センチ 挿絵の左に本文
四行 柱刻判読不能 刊記「承応二癸巳曆 寺町三条上町 本屋
庄右衛門板」

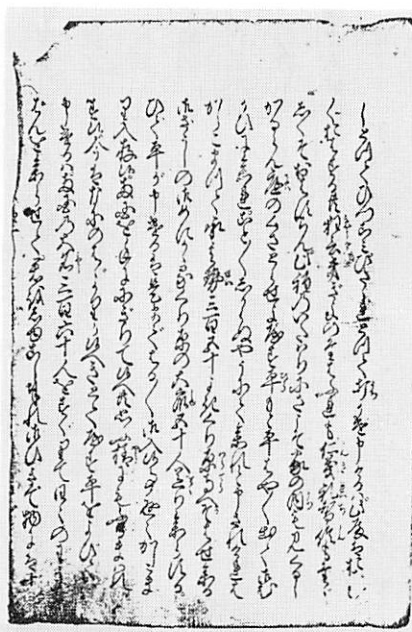
7 女三十六歌仙 刊 大本一冊

刊年不明 四周双辺 20・8×16・2センチ ただし折目側に若
干の裁断あり 半丁七行 柱刻不明

8 宮雛形 刊 大本

万治元年版 四周単辺 23・4×17・9センチ 半丁十行 た
だしさらに四行分ほどの余白あり 丁付はオモテのノドに「六」と
あり

9 保元物語 刊 大本三冊



- 明暦三年頃版か 四周単辺 22・1×16・5センチ 半丁十三行
 柱刻「保元卷三 十九」 版式の類似した『平治物語』に「明
 暦三丁酉年重陽吉辰 洛陽寺町誓願寺前 安田十兵衛板行」の刊
 記あり
- 10可笑記 刊 中本五冊
 万治二年版 四周単辺 17・0×12・3センチ 半丁十二行 柱
 刻「可笑記卷二 卅九」 刊記「万治二年正月山本五兵衛」
- 11宇治拾遺物語 刊 中本十五冊
 万治二年版 四周単辺 16・4×11・4センチ 半丁十一行 柱
 刻「宇治二 三十三」 刊記「万治二己亥年初冬日 洛陽今出
 川 書堂 林和泉橡板行」
- 12群印宝鑑 刊 半紙本三冊
 万治二年版 四周単辺 14・1×12・2センチ 挿絵のみの丁ゆ
 え行数不明 丁付はウラのノドに「上ノ十二」
- 13堪忍記 刊 大本八冊
 寛文四年版 四周単辺 23・6×16・5センチ 半丁十三行 柱
 刻「堪忍記卷八 十五」 刊記「寛文四曆甲辰五月吉日洛陽書
 林 前川茂右衛門開板」
- 14訓蒙図彙 刊 大本8冊
 寛文八年版 四周単辺 21・2×16・6センチ 半丁を上下左右
 に各々二分し、それぞれに、挿絵、解を付す 柱刻判読不能 刊
 記「寛文戊申季冬書肆 山形屋重梓」

15 一休ばなし 刊 大本四冊

寛文八年版 四周単辺 21・6×15・9センチ 半丁十四行 柱

刻「一休□ 卷一 □」 漉き返し紙にて江戸版か

16 弘法大師御伝記 刊 大本十冊

寛文頃版か 四周単辺 20・4×15・6センチ 半丁十一行 柱

刻「大師御伝記二 十八」

17 女歌仙 刊 大本一冊

寛文頃版か 四周双辺 22・2×15・8センチ 半丁十二行、た

だし挿絵上端の注文による 柱刻「十一」 版下は江戸版風

18 法花利益物語 刊 大本十二冊

寛文頃版か 四周単辺 21・3×16・2センチ 半丁十二行 柱

刻「利益物語一 廿二」

19 往生要集 刊 大本六冊

寛文十一年版か 四周単辺 21・1×16・6センチ 半丁十三行

柱刻「往一 □」

20 大和雛形 刊 大本三冊か

刊年不明 四周単辺 20・6×17・9センチ 挿絵のみの丁ゆえ

行数不明 丁付はオモテのノドに「五十六」

21 蓮上人註画讃 刊 大本五冊

寛文十一年版 四周単辺 22・1×16・5センチ 半丁十四行

柱刻「日蓮□ □」 刊記「寛文十一年辛亥九月吉辰 江戸大

伝馬三町目 鱗形屋板」

22 二十四孝 刊 大本一冊

刊年不明 四周単辺 22・5×15・5センチ 半丁十四行 柱刻

「二」 刊記「松会 板」 外題「二十四孝絵抄」 明暦二年

版の刊記を一部削った後刷本

23 塵劫記 刊 大本三冊

寛永頃版か 四周単辺 21・1×15・6センチ 半丁十二行 柱

刻「中 七」

24 釈迦八相物語 刊 大本八冊

寛文六年版後刷 無辺 字高21・3センチ ただし挿絵のみ四周

単辺 21・3×15・2センチ 半丁十二行 柱刻「第四 四十

三」 刊記「寛文六丙午歳 浪花書林 塩屋平助」

25 仮名列女伝 刊 大本五冊

明暦元年版か 四周単辺 20・0×15・3センチ 半丁十一行

柱刻「列女六 十三」

26 百人一首像讃抄 刊 大本一冊

刊年不明 四周単辺 22・7×15・7センチ 半丁二十四行（注

文により計算） 柱刻の有無不明 刊記「武州江城之下 大和絵

師菱川吉兵衛師宣 大伝馬町参町目 鱗形屋新板」

27 立花正道集 刊 大本四冊

天和四年版 四周単辺 21・6×15・8センチ 挿絵のみの丁ゆ

え行数不明 刊記「天和第四春芳節尋旧子」

28 印図 刊 大本二冊か

天和元禄頃版か 無辺 挿絵のみの丁ゆえ行数不明 柱刻「胎

十五

29新碁経 刊 大本二冊

貞享元年版か 無辺 碁盤の寸法19・4×16・8センチ 碁盤上に注文 柱刻「二十一」 序文末尾に「貞享元年甲子十月之望

洛陽後学片雲散人序」

30和漢朗詠集 刊 半紙本三冊

貞享元年版 四周単辺 16・7×11・9センチ 挿絵のみの丁ゆえ行数不明 柱刻判読不能 刊記「貞享元年甲子三月上潮日 書肆村上勘兵衛 洛下梅村弥右衛門」(解説)

31当麻曼陀羅白記撮要 刊 大本三冊

元禄七年版 四周単辺 22・2×14・8センチ 半丁十二行 柱刻「白記撮要」 刊記「元禄七年甲戌年六月吉

日 書肆 藤田八兵衛寿梓」

32平家物語 刊 横本

刊年不明 四周単辺 11・2×17・1センチ 半丁十九行 柱刻「平家第七 十」

33武仙 刊 半紙本一冊

元禄年間版 四周単辺 17・4×13・3センチ 半丁につき漢詩四行注文五行 柱刻「武 一二」 刊記「元禄癸酉歲初春日」

34賢仙 刊 半紙本一冊

元禄七年版か 四周単辺 16・1×11・3センチ 半丁十一行

柱刻判読不能

35兵法秘伝書 刊 大本二冊

元禄十四年版 四周単辺 21・5×16・8センチ 半丁十行 柱刻「図 二十四」 刊記「元禄十四辛巳年孟春吉辰 洛陽書肆栗山宇兵衛開板」

36馬経大全 刊 大本四冊

寛文頃版か 四周双辺 21・0×13・5センチ 半丁十一行 柱刻「馬経大全 夏集 卅三」 明版の覆刻か

37人国記 刊 半紙本

元禄十四年版か 四周単辺 19・2×13・1センチ 半丁九行 柱刻「人国記卷上 五十五」 挿絵半丁は「人国記卷上 五十七」

38ちんてき問答 刊 中本一冊

刊年不明 四周単辺 16・7×12・2センチ 半丁十四行 上文下図 柱刻判読不能

39池坊立花百瓶図 刊 大形本一冊

寛文十三年版 無辺 挿絵のみの丁ゆえ行数不明 柱刻有無不明

稀本零葉別集

(略号——「集」)

一冊 訪書会編か 刊年、発行部数等不明

春日版をはじめとする版本五十種を収める。この零葉集に関しては、刊行の経緯を明らかにしない。奇数ページに零葉を貼り、向い側のページに謄写版印刷の比較的長文の解説を添えるなど、前号にとりあげた国会図書館蔵「稀本零葉」五冊本と体裁を同じくするところから、無関係でなからう。所収の零葉も重複する。抜粋して一冊に仕立てたものか。あるいは、五冊本は月例会参加者への配布であったが、これはその残余を利用して、一般への頒布を行ったものか。「稀本零葉」は個人蔵を含めて四点が管見に入ったが、国会蔵本を除き、いずれも別集の方であった。世上に通用しているのは、むしろこちらかもしれない。また、国会本の第四、第五輯に零葉が不足していたが、その欠の一部を補うことができる。

底本——慶応義塾図書館(三四X—一一四—一)

1 大般若経 刊 六百卷

春日版 室町前期刊 無辺 字高19・9センチ 一行十七字

2 東坡先生詩 刊 大本二十五冊

五山版 南北朝頃刊 左右双辺 19・1×12・5センチ 半丁十

一行 有界 注文双行 柱刻判読不能 解説の標題は「王扶元集註蘇東

坡詩集」

3 碧巖録 刊 大本五冊(又は十冊)

五山版 南北朝頃刊か 四周双辺 18・3×11・0 半丁十一行

有界 柱刻「碧岩三 九五」

4 韻府群玉 刊 大本二十冊

五山版 南北朝頃刊 左右双辺 20・0×12・6センチ 半丁十

行二十九字 有界 注文双行 柱刻判読不能 解説によれば巻第

九の内

5 日本書紀 刊 大本十五冊

古活字版 慶長頃刊 四周双辺 20・4×14・2センチ 半丁八

行十六字 柱刻「日本紀□ 八十二」 各行行頭に一字分の余

白あり

6 万葉集 刊 大本二十冊

古活字版 慶長頃刊 四周双辺 22・7×16・5センチ 半丁八

行十八字 無訓 柱刻「万葉巻九 (丁数判読不能)」 伏見

版の活字を流用したもの、という

7 伊勢物語 刊 大本二冊

古活字版 嵯峨本 慶長十三年刊 無辺 字高22・3センチ 半

丁九行十七字 平がな交じり 具引き色変り料紙 也足叟の花押

あり 柱刻等なし

8 大和物語 刊 大本二冊

古活字版 元和頃刊 無辺 字高21・3センチ 半丁十二行二十

一字前後 平がな交じり 柱刻「上 廿三」

9 平治物語 刊 大本三冊

古活字版 元和寛永頃刊 無辺 字高21・4センチ 半丁十二行

二十二字前後 平がな交じり 柱刻有無不明

10 平家物語 刊 大本十二冊

古活字版 元和頃刊 左右双辺 22・5×16・3センチ 半丁十

二行二十三字前後 片かな交じり 柱刻判読不能 解説によれば

卷十

11 太平記 刊 大本二十冊

古活字版 慶長十四年跋 四周双辺 22・8×16・9センチ 半

丁十二行二十七字前後 片かな交じり 柱刻「太平記九 二十

□」 刊記「慶長己酉年陽月既望存庵跋 才雲刊之」

12 吾妻鑑 刊 大本五十一冊

古活字版 慶長頃刊 四周双辺 22・3×17・1センチ 半丁十

二行二十二字 注文双行 柱刻「東□□十七 二十二」 解説

によれば卷二十七 慶長十年刊の伏見版の翻印か

13 黄石公三略秘鈔 刊 大本三冊

古活字版 寛永頃刊 四周双辺 21・9×16・0センチ 半丁十

三行二十四字 柱刻「三畧上 四十」

14 施氏七書講義 刊 大本十四冊

古活字版 元和七年刊 四周双辺 19・8×15・2センチ 半丁

十行十九字 柱刻「□□□十九 十七」 各行行頭に一字分の

余白あり

15 史記 刊 大本五十冊

古活字版 慶長頃刊 四周双辺 23・0×17・2センチ 半丁八

行十七字 有界 注文双行 柱刻「史記 紀六 二十四」 い

わゆる伝嵯峨本史記

16 東坡先生詩 刊 大本二十五冊

古活字版 慶長頃刊 四周双辺 21・8×17・0センチ 半丁九

行十五字 有界 注文双行 柱刻「坡詩四 二十」 解説の標

題は「増刊校正王狀元集註分類 東坡先生詩集」

17 円悟心要 刊 大本四冊

古活字版 寛永三年刊か 四周双辺 22・7×15・1センチ 半

丁十一行二十字 柱刻「心要上 二十五」 標題は正しくは

「仏果円悟真覺心要」

18 科註妙法蓮華經鈔 刊 大本十二冊

古活字版 寛永二年刊 四周单辺 23・4×16・7センチ

半丁十一行十七字から二十字前後 片かな交じり 柱刻「□北五

末 □□□」 小型活字を用い、字間に送りがない(片かな)と

返り点を付す 刊記「皆寛永乙丑曆梅月下旬吉辰刊摺之」とある

か

19 百法問答抄 刊 大本九冊

古活字版 元和九年刊 無辺 字高21・7センチ 半丁九行二十

字 柱刻「百法二 十九」 近世初期高野版の一種で僧浄善の

開板

20 天台四教儀集解 刊 大本九冊

古活字版 寛永元年刊 無辺 字高22・9センチ 柱刻「集解下

五十四」 刊記「此集解者以唐印板檢校本而重刊功畢于時

寛永元^{甲子}歲次九月中旬」 唐本（明版大藏經の内か）からの翻

印

21 天台名目類聚鈔 刊 大本九冊

古活字叡山版 元和四年板 四周單辺 23・0×16・5センチ

半丁十一行十七字前後 柱刻「□□□ 六十六」 小型活字を

用い、字間に送りがない（片かな）と返り点を付す

22 新撰肝心要文 刊 大本三冊

古活字版 寛永四年刊 四周單辺 23・0×15・7センチ 半丁

十行二十字 柱刻「六〇要〇六 〇〇」 刊記「下立売自〇西二

町目 寛永四年^{丁卯}十一月吉日 判木屋長兵衛

23 聚分韻略 刊 小本一冊

慶長十七年版 四周單辺 13・1×11・9センチ 半丁九行 有

界 柱刻「五十一」 刊記「慶長壬子季春吉辰」

24 倭玉篇 刊 大本三冊

慶長十五年版か 四周双辺 20・8×17・2センチ 半丁七行

有界 柱刻「和玉卷上 〇八」

25 節用集^{易林本} 刊 大本二冊

慶長頃版 四周單辺 22・8×17・6センチ 半丁七行 注文双

行 柱刻「節用集上（丁付判読不能）」

26 四体千字文 刊 大本一冊

慶長十一年版 白文（陰刻） その寸法22・8×17・2センチ

半丁六行 柱刻判読不能 刊記「慶長丙午歲 春枝開板」

27 昨日は今日の物語 刊 中本二冊

寛永十三年版 無辺 字高16・8センチ 半丁九行 柱刻判読不

能

28 醒睡笑 刊 中本三冊

慶安頃版 四周單辺 16・0×12・1センチ 半丁九行 柱刻

「醒睡下 卅」 無刊記本

29 可笑記 刊 大本五冊

寛永十九年版 四周單辺 21・5×15・5センチ 半丁十一行

柱刻「可笑記卷二 廿七」

30 可笑記 刊 中本五冊

万治二年版 四周單辺 17・0×12・3センチ 半丁十二行 柱

刻「可笑記卷四 四十六」

31 竹斎 刊 大本二冊

寛永頃版 無辺 字高22・0センチ 半丁十一行 柱刻「竹斎

（丁付判読不能）」

32 大仏物語 刊 大本二冊

寛永十九年版 四周單辺 21・2×15・6センチ 半丁十行 柱

刻「大下 廿四」 刊記「寛永十九年暮春吉日」

33 烏帽子折 刊 大本二冊

寛永頃版か 無辺 字高20・2センチ 半丁十行 柱刻判読不能
丹緑本

34 伽婢子 刊 大本十三冊

寛文六年版 四周単辺 22・2×16・1センチ 半丁十二行 柱
刻判読不能 解説によれば巻第十三

35 京童 刊 大本六冊

明暦四年版 四周単辺 20・5×15・1センチ 挿絵のみの丁ゆ
え行数不明 柱刻判読不能 解説によれば巻二

36 江戸名所記 刊 大本七冊

寛文二年版 四周単辺 21・5×16・4センチ 挿絵のみの丁ゆ
え行数不明 柱刻「江戸名所記巻三 七」

37 一目玉鉾 刊 大本四冊

元禄二年版 四周単辺 22・7×16・0センチ 半丁十六行 柱
刻「一目玉鉾 (丁付等判読不能)」 刊記「元禄二年巳正月
吉日／大坂高麗橋心齋橋筋南入町／雁金屋庄左衛門板」 解説に
よれば巻四

38 異国往来記 刊 半紙本二冊

元禄九年版 四周単辺 17・4×12・2センチ 半丁十行 柱刻
判読不能 解説によれば下巻

39 武家義理物語 刊 大本六冊

貞享五年版 四周単辺 18・7×14・6センチ 半丁十一行 柱
刻判読不能 解説によれば巻四

40 好色訓蒙図彙 刊 小本三冊

貞享三年版 四周単辺 13・3×9・6センチ 半丁十行 柱刻
「二十八」

41 色道仮寝枕 刊 横本三冊

正徳頃版か 四周単辺 10・8×16・6センチ 半丁十五行 柱
刻「三之巻 十」


42 色道懺悔男 刊 大本六冊

宝永四年版 四周単辺 20・8×15・6センチ 半丁十一行 柱
刻「さんけ五 七」


43 傾城色三味線 刊 横本五冊

元禄十四年版 四周単辺 11・0×16・9センチ 半丁十五行
柱刻「岡之巻 色三味線 〇〇」

44 義経風流鑑 刊 横本五冊

明和四年大坂升屋版 四周単辺 11・2×17・7センチ 挿絵の
みの丁ゆえ行数不明 柱刻「 十七」 正徳五年八文字
屋版の求版本

45 新平家物語 刊 大本八冊

元禄十六年版 四周単辺 18・8×14・5センチ 挿絵のみの丁
ゆえ行数不明 柱刻「柏都平家物語巻三 」 解説の標題は
「逆新平家物語」

46 今川当世状 刊 大本六冊

正徳三年版 四周単辺 21・1×15・9センチ 半丁十一行 柱

刻「今川五之巻 二十六」

47 役者胎内搜 刊 横本三冊

宝永六年版 四周単辺 9・5×14・5センチ 柱刻判読不能

刊記「宝永六年丑三月吉日／ふや町せいぐわんじ下ル町 八文字
屋八左衛門板」

48 松の落葉 刊 半紙本六冊

宝永七年版 四周単辺 18・1×13・5センチ 半丁十二行 柱

刻判読不能 解説によれば巻五

49 片言 刊 横本五冊

慶安三年版 四周単辺 12・0×18・0センチ 半丁十一行 柱

刻「五ノ十六」

50 増補書籍目録 刊 横本二冊

寛文十年版 四周単辺 10・9×16・4センチ 半丁十一行 有

界 柱刻「九十」(陰刻) 刊記「寛文十^{庚戌}季秋吉旦／江戸本町

三丁目 西村又右衛門／京寺町誓願寺前 西村又右衛門」(上巻

巻頭総目録の終)

あとがき

今回は数のうえからはやや寂しいが、いずれもが稀覯に属すると思われる。稀本零葉集盛行の流れのうえで、それぞれがいかなる位置にあるかは、本稿の末に載せておいた一覧表を御参照願いたい。前号に載せたものに、その後明らかになった事項を補ってある。

書名の頭に記号を付けてあるが、※印が前号所収を、○印が今回掲載分を意味する。今回の掲載分が、『稀本零葉別集』を別にすれば、零葉集として最も早い時期の産物であることを、お分かりいただけるかと思う。

前回および今回掲載の分について、詳しくは、それぞれの冒頭に添えた小文にゆだねるが、なおいくつかのこともを補足して申しのべておくことにしたい。

その一は『玉屑集』である。このたび、その実態がほぼ明らかになったもののようである。そうすると、都立中央図書館の『玉屑集』二十二冊（加賀文庫 ○二二—G—）が何であったのか、が問題になろう。結論だけを言えば、玉屑会の『玉屑集』をベースに、他の零葉集その他に得たところを交えて改編したもの、である。つまり、個人の意向に沿った改変の施されているところから、他の零葉集と同日に扱うことはできない。それゆえにこの一点に関しては、機会をあらためて、紹介を試みることにしたい。

その二は『紙魚玉屑集』である。紙魚玉屑集頒布会によるこの零葉集は、前号に述べたごとく、多く見開き一丁を黒い台紙に貼付しただけの装訂であったが、これを利用し、新たに貼り直して製本し、書名を変えた二種に出会った。古書展で見た『古刊聚葉』（戸川浜男氏旧蔵）と、横浜国大蔵『古梓残鑑』（○二三—二二）とである。『紙魚玉屑集』は、零葉ごと右肩に書名、刊年などを印刷した小紙片を貼付し、小紙片下部に横組みで「紙魚玉屑第（何）回」とするが、両者ともその横組み部分が僅かに切り取られている。両者、零葉が半丁であることから、『古刊聚葉』『古梓残鑑』ともに二点づつ仕立てられた可能性がある。

その三は『反故草子』。稀本零葉集は前回八種を紹介して後、五種を今回取り上げることができたのであるが、なおその実体を明らかにするを得ないものが残った。そのうち『反故草子』については、とくに一言しておく必要がある。編者の堀田章男氏が名古屋の人であるらしいことを、中野三敏氏の示教によって知り、藤園堂主伊藤健氏にお尋ねしてみた。すると、何と数日前まえにもお目にかかった、との思わざる返事。教えられた住所に手紙を差上げたところ、早速に長文の御返事をいただいた。本名、堀田吉雄氏、昭和十年代の「書誌学」や「書物展望」に論文多数を寄せられたのち、柳田国男氏に師事して民俗学に転じ、現在に至る、とのこと。明治三十二年生れの八十七歳で、桑名に御健在である。前号に、資料館蔵本に従って、『反故草子』を昭和十七年の刊としたが、前編昭和十二年刊、後編昭和十七年刊が正しく、管見に入ったものでは、慶大蔵の一冊が前編、資料館蔵の二冊のうちの二冊が後編で揃い

になるものごとくである。刊行部数は二十部とのこと。別に『新編反故草子』がある。お手紙に、この分は二冊とあったが、最近、資料館に四冊が入った。その内に、巻六、巻七と記すものを含み、なお全冊数を明らかにしない。半世紀も前のこととて、記憶も定かでない、との堀田氏の言。現物を御覧に入れ確認していただくべく、桑名行をお約束してあるというのが現状。

なお、今回始めて書名を知った零葉集が、他にもある。『玉屑集』の項に記しておいた、書田会の『書史志料』がそれであり、また、これは伊藤健氏の示教であるが、石田元季氏に『もとがしは』の編あり、とのこと。編者たちの知見の及ばない零葉集が、まだ他にも少なくないことであろう。今回もまた大方の御教示を乞い願うものである。

終りに、現在までに知りえた『反故草子』の内容を、書名を記すことによって示しておく。

(渡辺記)

『反古草子』前集

1 伊勢物語	刊 大本	寛永頃版
同 挿画		
2 他我身の上	刊 大本	明暦二版
3 京童	刊 大本	明暦四版
同 挿画		
4 女訓抄	刊 大本	万治元版

同 挿画			
5 女諸礼集	刊 大本	万治三版	
同 挿画			
6 堪忍記	刊 大本	万治頃版	
同 挿画			
7 一休咄	刊 大本	寛文八版	
8 義経記	刊 大本	寛文十版	
同 挿画			
9 住吉相生物語	刊 大本	延宝四版	
10 日本名女咄	刊 大本	天和二版	江戸版
同 挿画			
11 婦人養草	刊 大本	貞享頃版	
同 挿画			
12 一休可笑記	刊 大本	刊年未詳	
13 本朝桜陰比事	刊 大本	元禄二版	
14 〔逸題浮世草子〕	刊 半紙本	刊年未詳	
15 由良三郎景村	刊 中本	元禄十四版	土佐浄瑠璃
16 梶の葉	刊 半紙本	宝永四版	
17 本朝新堪忍記	刊 大本	宝永五版	
18 和国玉かつら	刊 大本	宝永六版	
19 風流曲三味線	刊 横本	宝永七版	
20 傾城禁短気	刊 横本	正徳元版	

21 諸士興廢記	刊	大本	享保三版	40 中華手本唐人藏	刊	中本	寛政八版
22 楠三代杜子	刊	大本	享保五版	41 傾城買二筋道	刊	中本	寛政十版
23 花実義経記	刊	大本	享保五版	42 蘭斎画譜	刊	大本	享和元版
24 徒然時世粧	刊	大本	享保六版	同 挿画			
同 挿画				43 船頭深話	刊	小本	文化三版
25 世間手代気質	刊	大本	享保十五版	44 茶番狂言口切のせりふ	刊	半紙本	文化八版
同 挿画				45 骨董集	刊	大本	文化十二版
26 潤色栄花娘	刊	中本	享保頃版	46 富嶽百景二編	刊	半紙本	天保六版
27 逍遙集	刊	大本	元文頃版	47 花名所懷中暦	刊	中本	天保七、九版
28 逆沢湧鑑	刊	大本	寛保元版	同 挿画			
29 鎌倉諸芸袖日記	刊	大本	寛保三版	48 桃山人夜話	刊	半紙本	天保十二版
30 古今役者大全	刊	中本	寛延三版	同 挿画			
同 挿画				49 艶歌秋の寝覚	刊	半紙本	天保十二版
31 百合稚錦嶋	刊	大本	宝暦二版	50 紀伊国名所図会	刊	大本	嘉永四版
32 軽口東方朔	刊	半紙本	宝暦十二版	『反古草子』後集			
33 絵本江戸紫	刊	半紙本	明和二版	1 可笑記	刊	大本	寛永十九版
34 倭詞接木花	刊	大本	明和六版	2 しやかの御本地	刊	大本	寛永二十版
35 雨月物語	刊	半紙本	安永頃版	3 東海道名所記	刊	大本	万治頃版
36 翠釜亭戯画譜	刊	大本	天明二版	4 見ぬ京物語	刊	大本	万治二版
37 京伝工夫小紋裁	刊	半紙本	天明四版	同 挿画			
38 世上洒落見絵図	刊	中本	寛政三版				
39 拍掌風草紙	刊	半紙本	寛政四版				

5 浅井物語	刊 大本	寛文二版	22 西鶴織留	刊 大本	元禄七版
同 挿画			23 小夜嵐物語	刊 半紙本	元禄十一版
6 京雀	刊 大本	寛文五版	24 御前御伽婢子	刊 大本	元禄十四版
7 海上物語	刊 大本	寛文六版	同 挿画		
8 因果物語	刊 大本	寛文七版	25 風流日本莊子	刊 大本	元禄十五版
9 浮世物語	刊 大本	寛文頃版	26 風流神代卷	刊 大本	元禄十五版
同 挿画		江戸版	27 飛鳥川当流男	刊 大本	元禄十五版
10 子孫鑑	刊 大本	寛文十二版	同 挿画		
11 あさがほのつゆのみや	刊 大本	寛文頃版	28 元禄曾我物語	刊 大本	元禄十五版
12 山城四季物語	刊 大本	延宝二版	29 遊興新平家物語	刊 大本	元禄十六版
同 挿画			30 金玉ねちぶくさ	刊 大本	宝永元版
13 出来齋京土産	刊 大本	延宝六版	31 傾城播磨石	刊 横本	宝永四版
14 杉楊枝	刊 半紙本	延宝八版	同 挿画		
15 宗祇諸国物語	刊 大本	貞享二版	32 千尋日本織	刊 半紙本	宝永四版
同 挿画			33 当世誰が身の上	刊 大本	刊年未詳
16 はちかつぎ	刊 大本	宝永二版	34 武道播磨石	刊 半紙本	正徳元版
17 貴船の本地	刊 大本	刊年未詳	35 一夜船	刊 大本	正徳二版
18 三国物語	刊 大本	刊年未詳	同 挿画		
19 新御伽婢子	刊 大本	天和三版	36 今川一睡記	刊 大本	正徳三版
同 挿画		十六行本	37 風流訛平家	刊 横本	正徳五版
20 好色一代女	刊 大本	貞享三版	38 世間娘気質	刊 大本	享保二版
21 武道伝来記	刊 大本	貞享四版	同 挿画		

39 昔男時世粧	刊	半紙本	享保十六版	5 宗祇諸国物語	刊	大本	貞享二版
40 咲分五人娘	刊	大本	享保二十版	6 東海道名所記	刊	大本	万治頃版
41 愛護初冠女筆始	刊	大本	享保二十版	7 堪忍記	刊	大本	明暦元版
同 挿画				8 東海道敵討	刊	大本	元禄十五版
42 渡世伝授車	刊	大本	元文六版	同 挿画			
43 世間長者容気	刊	半紙本	宝暦四版	9 和国玉かつら	刊	大本	宝永六版
44 地獄楽日記	刊	半紙本	宝暦五版	10 他我身の上	刊	大本	明暦三版
45 日本契情始	刊	大本	明和四版	11 一夜舟	刊	大本	正徳二版
46 怪談御伽桜	刊	大本	刊年未詳	12 天神記	刊	半紙本	刊年未詳
同 挿画				13 傾城反魂香	刊	半紙本	刊年未詳
47 渡世商軍談	刊	大本	刊年未詳	14 茶の子餅	刊	小本	安永頃版
48 風流虫合戦	刊	大本	刊年未詳	15 一宵話	刊	半紙本	文化七版
49 農民太平記	刊	大本	刊年未詳	16 燕石櫟志	刊	大本	文化八版
50 当世御伽會我	刊	大本	刊年未詳	17 用捨箱	刊	大本	天保十二版
『新編反故草子』卷一				18 道心墨染桜	刊	半紙本	刊年未詳
1 可笑記	刊	大本	寛永十九版	19 当世染戯場雛形	刊	中本	文政六版
2 出来齋京土産	刊	大本	延宝六版	20 三熊野かげらうすがた	刊	半紙本	刊年未詳
3 一休咄	刊	大本	刊年未詳	21 拍子舞紅梅えびら	刊	中本	文化十版
同 挿画				22 伊達娘恋緋鹿子	刊	半紙本	刊年未詳
4 海上物語	刊	大本	寛文六版	23 風俗金魚伝二編	刊	中本	天保八版
				同 見返			合巻
				24 発句題叢	刊	中本	天保頃版
							俳書

【新編反故草子】卷二

1 古老軍物語	刊 大本	万治頃版	
2 本朝桜陰比事	刊 大本	元禄二版	
3 地獄楽日記	刊 半紙本	宝暦五版	
4 島原合戦記	刊 大本	宝永元版	
5 飛鳥川当流男	刊 大本	元禄十五版	
6 当世誰が身の上	刊 大本	明暦三版	
7 女しつけ方	刊 大本	刊年未詳	
同 挿画			
8 一夜舟	刊 大本	正徳二版	
9 昔男時世粧	刊 大本	享保十六版	
10 風流誑平家	刊 横本	正徳五版	
11 咲分五人娘	刊 大本	享保二十版	
12 世間娘気質	刊 大本	享保二版	
同序文			
13 小夜嵐	刊 半紙本	元禄十一版	
14 露休しかた咄	刊 半紙本	享保頃版	
15 善光寺	刊 半紙本	刊年未詳	浄瑠璃
16 相模入道千疋犬	刊 半紙本	刊年未詳	近松作
17 【歌謡本】	刊 半紙本	刊年未詳	

【新編反故草子】卷六

18 百人首和歌初衣抄	刊 中本	天明七版	洒落本
19 魂胆胡蝶枕	刊 中本	享和二版	
20 船頭深話	刊 小本	文化三版	
21 ^{東海} 膝栗毛	刊 中本	享和二版	
22 江の島土産	刊 中本	文化七版	
23 串戯二日酔	刊 中本	文化八版	
24 ^{名古屋} 膝栗毛	刊 中本	文化十二版	
25 ^{大山} 栗毛後駿足	刊 中本	文化十四版	
同 挿画			
26 契情肝粒志	刊 中本	文政八版	人情本
27 廓ノ意気地	刊 中本	文政頃版	人情本
28 ^{鶴東} 花樓志	刊 中本	天保八版	人情本
29 春色梅暦	刊 中本	天保三版	
30 【逸題合巻】	刊 中本	刊年未詳	
同			
1 医方大成論	刊 半紙本	刊年未詳	医書
2 和名集	刊 横本	正保頃版	薬方
3 類聚方	刊 小本	明和元版	薬方
4 宜禁本草	刊 横本	寛永頃版	本草
5 本朝食鑑	刊 半紙本	元禄十版	

6 草木性譜	刊 大本	文政頃版	27 扶桑孝子伝	刊 大本	万治頃版
同 挿画			同 挿画		
7 草木錦葉集	刊 大本	文政十二版	28 新編鎌倉志	刊 大本	貞享頃版
8 華陽皮相原稿	刊 大本	刊年未詳 馬医書	同 挿画		
9 〔文政二年〕曆	刊		29 鹿島志	刊 大本	文政頃版
10 塵劫記	刊 大本	寛永頃版	<p>【新編反故草子】卷七</p>		
11 算法初心抄	刊 半紙本	延宝頃版			
12 和玉篇	刊 大本	慶長頃版			
13 真草二行節用集	刊 大本	寛永頃版			
14 増補訓蒙図彙	刊 半紙本	刊年未詳			
15 香道秋の光	刊 小本	享保頃版			
16 碁立絹篩	刊 大本	天明頃版			
17 料理物語	刊 半紙本	寛永頃版			
18 料理山海郷	刊 小本	寛延頃版			
19 料理分類いろは庖丁	刊 小本	刊年未詳			
20 天狗通	刊 半紙本	寛政頃版 奇術	7 都名所図会	刊 大本	天明六版
21 茶家酔古集	刊 横本	天保頃版	同 挿画		
22 広益書籍目録	刊 横本	刊年未詳	8 近江国名所図会	刊 大本	寛政頃版
23 神風記	刊 大本	寛文頃版	9 河内国名所図会	刊 大本	享和元版
24 英語箋	刊 小本	万延頃版	同 挿画		
25 海外新聞	刊 半紙本	明治三版	10 華夷通商考	刊 半紙本	刊年未詳
26 英字訓蒙図彙	刊 半紙本	明治四版	11 名区小景	刊 半紙本	嘉永頃版
			同 挿画 (多色刷)		

12 御江戸図説集覧 刊 大本 嘉永頃版 多色刷

13 成仏経 刊 折本 寛永十九版 高野版

14 孝子鑑 刊 大本 元禄頃版

15 宝物集 刊 大本 万治頃版

同 挿画

16 女人愛執録 刊 大本 元文五版

17 五事毘婆沙論 刊 大本 刊年未詳 仏書

18 永代重宝記 刊 半紙本 元禄頃版

19 万宝庭訓往来 刊 大本 正徳五版

20 永楽古状揃 刊 大本 天明三版

21 女訓百人一首宝箱 刊 半紙本 文政十版

22 仮名世説 刊 半紙本 文政頃版

稀本零葉集一覽

○玉屑集 明43→大正10 玉屑会 一六?冊 【玉】

○古梓殘葉 昭4・7 禿氏祐祥編 二冊 杉田大学堂刊 【梓】

龍大(〇二三―二七八)

慶大(一九X―四四―二)

大谷女大(K〇二・三一―K)

京大(八一五八・大別・コ1)

○古梓殘葉別本 昭4・9 禿氏祐祥編 一冊 杉田大学堂刊 【残】

横国大(〇二三―一一)

中之島(に―三三四二)

個人蔵

○古雕聚葉 昭5 一冊 天心堂書房刊 【雕】

※印——【調査研究報告】七号(昭六一・三) 収録済
○印——今回収録分 【一】内は略号

京大(八一五八・大別・コ2)
個人蔵

※蛾眉公子

昭6

一誠堂玉屑会

二冊

【蛾】

東京誌料(〇〇二七一・二二)

三康(二別―B五八)

天理(〇一―ター七ヘ―二〇七)

早大(イ―一九四三―一〇二)

慶大(二二X―六七―二)

個人蔵

※倭刊聚葉第一輯

昭8

斎藤昌三

二冊

【倭】

東京誌料(〇〇二七一・二二)

九大(〇一〇―ワ―五)

天理(〇一九―ター三ヘ―一八〇二)

慶大(二四三―五八)

早大(イ―一九三〇―一〇二)

国資(ラ三一―一六)

【稀】

国会(〇二三・三・ki一四二)

【別】

慶大(三四X―一四―二)

早大(イ―一九三六)

個人蔵

※稀本零葉

昭8
16

訪書会

五冊

○稀本零葉別本

不明

訪書会

一冊

※古活字版拾葉

昭 10

訪書会

二冊

【活】

東京誌料(〇〇二七一六)

天理(〇一―タ―九へ―二八八)

香大神原(〇二二・三)

慶大(二三X―一八一)

※紙魚玉屑集

昭 12

紙魚玉屑頒布会 一帙

【紙】

横国大(〇二二三―一三)

国資(リ三一―一四)

反故草子

昭 12
17

堀田葦男

二冊

慶大(三四X―七七―二)

国資(ラ三一―一〇)

名家真蹟譜

昭 13
16

訪書会

一冊

国会(七二八・一―M四四八二―H)

古今紙譜

訪書会

一冊

国会(〇二二・八―ko五四四―H)

新編反故草子

昭 19

堀田葦男

四冊?

国資(ラ三一―一)

紙魚のなごり

昭 31
44

和本研究会

五冊

※古活字版聚芳

昭 40

文書の会

二冊

【聚】

早大(イ二―三三四三―一―二)

国資(リ三一―一)

※浮世草子聚芳

昭 46

文書の会

二冊

【浮】

※古版本聚芳

昭55

文車の会

二冊

国会（W九九二―一七九）

茨城県歴史館（五―二三）

国資（リ三―一二）

【版】

国資（リ三―一〇）

歴代古紙聚芳

昭57

文車の会

四冊

早大（ム二―一三四八二―一―四）

国資（レ二―一二）

書名五種綜合索引

あ行

犬百人一首↓「キヨ」狂歌犬百人一首

烏帽子折(寛永頃版)

集 33

医範提綱図(刊年不明)

玉二二1

絵本いろは歌(刊年不明)

玉二五7

今川当世状(正徳三版)

集 46

絵本江戸桜(享保頃版)

玉二六21

今源氏空船(享保元版)

玉八8

絵本松のしらべ(寛政頃版)

玉二六3

色縮緬百人後家(享保頃版)

玉二六8

円悟心要(古活字寛永三版か)

集 44

彩画職人部類(天明四版)

玉二8

遠西医方名物考(文政八版)

玉二六30

因果物語(寛文頃版)

玉二五10

王状元集註諸家分類東坡先生詩

印図(刊年不明)

離 28

↓「トウ」東坡先生詩

韻府群玉(五山版)

集 4

往生要集(寛文十一版か)

離 19

浮世いろ算用(刊年不明)

玉二〇7

大絵図稽古帳(刊年不明)

玉二五12

宇治拾遺物語(万治二版)

離 11

沖津白浪(刊年不明)

玉二一1

謡本

玉二二6

諸国御伽うつほ猿(元文五版)

玉二一5

(古活字嵯峨本)

玉二二6

伽婢子↓「トキ」

玉二四12

(延宝五版)

梓 38・別 31

御文記事珠(刊年不明)

玉二四12

雲水壇(朝鮮本)

玉二一3

御馬印(寛永頃版)

玉二一4

江戸惣鹿子名所大全(寛延四版)

玉六10

女歌仙(寛文頃版)

離 17

江戸土産(宝暦頃版)

玉二六20

女三十六歌仙(刊年不明)

離 7

江戸名所ばなし(元禄七版)

玉九5

女用訓蒙図彙(貞享四版)

玉一3

江戸名所記(寛文二版)

集 36

か行

江戸名物鹿子(享保十八版)

玉八5

花彙

玉七4

犬子集(寛永十版)

玉八6

海意菩薩所問浄印法門經↓「シヨ」

あほうの春駒(元禄頃版)

玉三2

海意菩薩所問浄印法門經↓「シヨ」

玉七4

会津曆↓「コヨ」曆

あさがほつゆのみや(刊年不明)

玉二二7

蘆分船(延宝三版)

玉四6

吾妻鑑(古活字慶長頃版)

玉二八・集 12

雨夜三盃機嫌(元禄六版)

玉六7

いへば草(享保十九版)

玉九8

池坊立花百瓶図(寛文十三版)

離 39

異国往来記(元禄九版)

集 38

伊勢物語

集 38

(古活字嵯峨本)

玉七1・集 7

(万治三版)

玉九3

(安永七版か)

梓 45

伊勢曆↓「コヨ」曆

玉九6

いそざき

玉九6

伊曾保物語(万治二版)

玉三5

一休可笑記(刊年不明)

玉四4

一休ばなし(寛文八版)

梓 35・離 15

海上問答 (寛文頃版)	玉二六	23	狂歌犬百人一首 (元禄十版)	玉五五	5	(享和頃版)	玉二〇	10
梶の葉	玉二二	3	狂歌ばなし (寛文頃版)	玉二〇・梓	36	好色五人女 (貞享頃版)	玉三三	5
可笑記	集 29		狂言記 (元禄頃版)	玉四	10	好色大福帳 (元禄十版)	玉一	5
(寛永十九版)			京童 (明暦四版)	玉五・六・集	35	好色二代男 (貞享二版)	玉九	4
(万治二版)	玉六三・雕	10・集 30	京童跡追 (寛文七版)	玉三	4	黄石公三略秘鈔↓「サン」三略秘鈔	雕 16	
都のつゆ懸合話 (元禄頃版)	玉八	4	訓蒙図彙	玉二一・雕	14	弘法大師御伝記 (寛文頃版)	玉九	2
片言 (慶安三版)	集 49		(寛文八版)	玉二五	1	高野大師行状図画 (明暦頃版)	玉九	2
科註妙法蓮華經鈔 (古活字寛永二版)	集 18		(寛文頃版)	雕 12		広録↓「テン」天目中峰和尚広録	梓 27	
仮名列女伝 (明暦元版か)	雕 25		群印宝鑑 (万治二版)	玉三	16	古註千字文 (古活字元和頃版)		
からいと (松会版)	玉六	5	經濟問答秘録 (木活字版)	集 43		五百家註音弁昌黎先生文集↓「シヨ」		
軽口はなし (元禄頃版)	玉二	9	傾城色三味線 (元禄十四版)	玉七	2	御文記事珠↓「オフ」	梓 43	
寛永行幸記 (古活字版)	玉二五	11	傾城禁短気 (正徳二版)	玉三	14	小町家集 (元禄頃版)		
勸学院物語 (寛文九版)	玉二	2	経世文編抄 (木活字版)	玉二四	9	古暦 (古活字寛永版)	玉五	7
堪忍記 (寛文四版)	玉四八・雕	13	源氏物語 (古活字版)	玉二六	13	伊勢暦 (元禄十七版)	玉二	1
韓文↓「シヨ」昌黎先生文集			元治夢物語 (木活字版)	雕 34		会津暦 (正徳四版)	玉八	1
冠直衣女源氏姿絵百人一首 (刊年不明)	玉三	4	賢仙 (元禄七版か)	梓 31・別	26	暦本 (朝鮮版)	梓 12	
義経記	雕 1		源平盛衰記 (寛永頃版)	金毘羅利生纒 (文政七版)	玉九	11		
(寛永頃丹緑本)	梓 33		広益書籍目録↓「シヨ」書籍目録	梓 11・別	11	さ 行		
(正保頃版)	集 27		孔子家語 (朝鮮版)	玉五	9	西鶴置土産 (元禄六版)	玉七	7
昨日は今日の物語 (寛永十三版)			好色江戸紫 (貞享三版)	集 40		西鶴諸国ばなし (貞享頃版)	玉二五	8
奇妙図彙 (刊年不明)	玉二	3	好色訓蒙図彙					
			(貞享三版)					

彩画職人部類↓「イロ」

四十二国人物図説(享保頃版)

城西聯句(古活字元和四版)

梓22・別22

業根百事譚(木活字版)

玉三15

四書集註(寛永頃版)

尚書正義(影宋版)

玉五4

雜病広要(木活字版)

玉六34

四書略図解(承応二版)

松の葉
後編 松竹梅(元禄十六版)

玉二7

冊府元龜(明版)

梓8・別8

四天王^並やはた(刊年不明)

浄土名目図(永正五版か)

梓19・別18

小夜衣(天和三版)

玉二2

士農工商(刊年不明)

焦尾琴(元禄十五版)

玉六1

さんげ物語(明暦頃版)

玉八7

紫文あまのさへがり(享保頃版)

昌黎先生文集(古活字寛永頃版)

玉一9

纂図附音増広古註千字文↓「コチ」

四分律(宋版)

梓1・別1

職人尽発句合(寛政九版)

玉八10

三世相

四分律行事抄(宋版)

別4

諸国御伽うつほ猿↓「オト」

(明暦頃版)

梓34・別29

四分律行事鈔科(建長四版)

梓13

書籍目録

(天和三版)

玉六26

四民乗合船(正徳四版)

玉八3

増補書籍目録(寛文十版)

集50

三世相小かがみ(宝永頃版)

玉一2

事文類聚翰墨全書(元版)

梓5・別5

広益書籍目録(元禄五版)

玉一1

三体詩

玉二9

釈迦八相物語(寛文六版)

雕24

新女歌仙(刊年不明)

玉四2

(明応版)

玉二9

釈摩訶衍論記(正応元版)

梓14・別13

新可笑記(元禄元版)

玉上8

(古活字寛永三版か)

梓28・別23

十三朝紀聞(木活字版)

玉六32

應劫記

雕23

三無性論(寛文天和頃版)

梓40・別33

集千家註批点杜工部詩集↓「トコ」

(寛永頃版)

玉〇5

三略秘鈔(古活字寛永頃版)

集13

聚分韻略(慶長十七版)

集23

(延宝三版)

玉〇5

四海入海(古活字元和頃版)

玉上1

首廿四孝↓「ニシ」

梓6・別6

新碁経(貞享元版か)

雕29

史記(古活字伝噓峨本)

玉一8・梓24・別20・集15

周礼註疏(明版)

玉五13

人国記(元禄十四版か)

雕37

玉一8・梓24・別20・集15

首楞嚴経義疏(師直版)

玉五13

新撰肝心要文(古活字寛永四版)

集22

色道仮寝枕(正徳頃版)

集41

浄印法門経(明版)

梓7・別7

真宗仮名聖教関典録(木活字版)

玉六35

色道懺悔男(宝永四版)

集42

小学合璧(木活字版)

玉六33

ぢんてき問答(刊年不明)

雕38

十卷書(高野版)

玉九1

傷寒論疏義(木活字版)

玉六14

新編事文類聚翰墨全書↓「シモ」

東海道敵討 (元禄十五版)	玉士 6	仁勢物語 (寛永頃版)	玉二五 16		玉士 4
東海道分間図 (元禄頃版)	玉二五 20	日蓮上人註画讃 (寛文十一版)	雕 21	(刊年不明)	雕 26
東海道名所記 (万治頃版)	玉三 6	日本外史 (木活字版)	玉三三 12		梓 44
(東山外集) (五山版)	玉二六 9	日本書記 (古活字慶長頃版)	集 5		集 19
当世智恵鑑 (正徳頃版)	玉二六 24	日本植物図譜 (洋本)	玉三三 14		
東坡先生詩		女用訓蒙図彙↓「オン」			雕 35
(五山版)	梓 17・別 16・集 2	仁王般若経 (文安元版)	梓 16・*別 15		玉三三 2
(古活字慶長頃版)	集 16	涅槃経疏 (古活字寛永頃版)	梓 29・別 24		集 39
当流雲の梯 (享保四版)	玉士二 2				玉二六 25
当流女用鑑 (元禄頃版)	玉士二 8	は 行			雕 33
伽婢子 (寛文六版)	玉三三 3・集 34	俳諧御傘 (慶安四版)	玉五 3		玉二〇 2
杜工部詩集 (元版)	玉四 2	俳諧時津風 (延享三版)	玉三三 7		玉二五 19
渡世身持談義 (元文元版)	玉士二 5	俳優三階興↓「ヤク」			玉五 8
な 行		馬経大全 (寛永頃版)	雕 36		玉四 1
		花摘 (元禄三版)	玉二 4		玉三三 17
		はなひ草綱目 (寛文頃版)	玉二〇 4		
男色大鑑 (貞享四版)	玉士二 10	一目玉銚 (元禄二版)	玉六四・集 37		玉一 7
南木誌 (木活字版)	玉六 16	秘本玉くしげ (木活字版)	玉二四 13		集 9
仁義理古武志 (刊年不明)	玉六 22	百将新詠 (木活字版)	玉三三 11		玉三三 1
二十四孝		百人一首 (刊年不明)	玉二五 4		雕 32
(松会版)	雕 22	百人一首像讃抄			
(天和頃版、首書)	玉二六 4				
修紫田舎源氏 四編 (天保二版)	玉八 11	(延宝六版)	梓 39・別 32	平治物語 (古活字元和寛永頃版)	集 9

	(寛永三版)	雕 4	宮雛形 (万治元版)	雕 8	大和耕作絵抄 (天和頃版)	玉二六 19
碧巖録 (五山版)			むさしあぶみ (万治頃版)	玉二 3	大和雛形 (刊年不明)	雕 20
	玉八 2・梓 18・* 別 17・集 3		武蔵夜話 (文化頃版)	玉二四 7	大和物語 (古活字元和頃版)	集 8
弁慶物語 (古活字慶長元和頃版)	玉二四 10		武者揃 (正徳頃版)	玉二五 15	遊女百人一首 (刊年不明)	玉二四 4
保元物語			武者物語 (承応頃版)	玉二六 5	義経風流鑑 (明和四版)	集 44
(古活字嵯峨本)	玉四 3		武玉川 (明和頃版)	玉二 11	万の文反古 (元禄九版)	玉二〇 9
(寛永三版)	別 28・雕 3		むつちどり (元禄頃版)	玉二四 3	四体千字文 (慶長十一・春枝版)	集 26
(明暦三版か)	雕 9		無能勝大明陀羅尼經 (高麗版)	梓 4		
北条五代記 (刊年不明)	玉二 9		名女情比 (刊年不明)	玉二 5	ら 行	
卜養狂歌集 (元禄頃版)	玉二〇 8		明堂灸経 (明暦万治頃版)	雕 5	礼記 (寛永頃版)	玉二五 17
法華秀句 (古活字元和寛永頃版)	玉二四 8		明和伎鑑 (明和六版)	玉二 12	陸宣公奏議 (木活字版)	玉二四 16
法花利益物語 (寛文頃版)	雕 18		藻塩草 (寛永頃版)	玉二六 11	立花正道集 (天和四版)	雕 27
			尤之双紙 (刊年不明)	玉四 5	立身大福帳 (元禄十六版)	玉六 2
ま 行					龍川文集 (木活字版)	玉二 13
			や 行		類字名所和歌集 (古活字元和頃版)	玉七 9
摩訶止観科解 (古活字元和二版)	玉二 10		役者いろ仕組 (享保頃版)	玉九 9	嶺南雜記 (木活字版)	玉六 31
摩訶般若波羅蜜經 (古活字天海版)	梓 32		役者綱目 (明和八版)	玉三 1	礼部韻略 (五山版)	玉三 8
松の落葉 (宝永七版)	集 48		俳優三階興 (寛政十三版)	玉九 10	曆本↓「コヨ」曆	
松の葉 (元禄十六版)	玉二 6		役者胎内搜 (宝永六版)	集 47	蓮如上人御文 (文禄慶長頃版)	梓 20・別 19
松の葉 松竹梅↓「シヨ」			役者手鑑 (安永頃版)	玉二四 5	論語 (天文二版)	玉一 10
後編 松竹梅↓「シヨ」						
万葉集 (古活字慶長頃版)	玉六 9・集 6		野史 (木活字版)	玉二六 36		
身延山御抄 (古活字寛永頃版)	玉二六 10		大和絵づくし (刊年不明)	玉四 9		
都のつゆ 武蔵の鹿 合話↓「カケ」						

わ行

和漢朗詠集(貞享元版)

離 30

和国諸職絵尽(貞享二版)

玉八 9

倭玉篇

(慶長十五版か)

集 24

(慶安五版)

玉十二 10

*

[奈良絵本]

玉一〇 3

[祐信絵本]

玉二四 6

摺仏

梓 21・別 12

九重守

梓 22

歌かるた

梓 23